

米國の東海岸迄の砂糖の運賃は鑽石の一八弗に對し弗二〇を唱へてゐる爲めに船腹への優先権があるその製品を船積す可く製糖業者に依つて演じられる異常なるラッシュはその運賃を變動せしめその需要を激増せしめた。事實見當る限り船腹は砂糖の爲めに豫約されその運賃が金屬を凌いでゐる爲めに船會社に依つて首肯が與へられてゐる。

船舶關係業者に云はせれば、突風の砂糖積出しに依つて起つた供給過多はほんの一次的なものであらうと。船積登録に依れば本年約六〇〇、〇〇〇噸の砂糖が輸出され、未だ約二三四、六五五噸が保藏されてゐる。此の狀態が緩和されると同時に船腹は需要を満足せしめる事が出来る豊富な金屬に依つて利用せられるであらう。戦争は太平洋から船舶を撤回したが、米國の船會社は比島への航行を増大した。一九三九年末三ヶ月間並に一九四〇年一月の間に一三六航海が米國向に成された。一九四〇年度と一九四一年度に於ける同期間中に一六三航海が成された。豫測出来ぬ状態の起らない限り今年後期は金屬輸出業者をして自由に彼等の製品を輸出出来る可く船舶が彼等に開放されるだらう。

比律賓が星條旗下にあつて、米國國防政策に全的協力を惜まぬと保證しても、買手の米國は條件が最適である處と契約するであらう。南米の場合に於て、ブラジルは高級クローム鐵を持ち運賃は比島に於ける如く重要な要素とはならない。

比島の莫大なるクローム鐵床に關して、米國が此の金屬を比島市場に求めないと云ふ理由はないが、生産者は船腹が現代に於ては重要問題であると云ふ意見を持つてゐる。若し米國の工場が此の比島の鐵石を必要とするならば、それを輸送する方法を發見しなければならぬ。

現代の軍需資材計畫に在つてはマンガンは最も重要な金屬の中の一つであると云はれてゐる。この金屬は米國がその供給を全的に外地に仰ひてゐる程で米國に於ては少量生産金屬中の一つである。米國々防計畫には一、〇〇〇、〇〇〇噸の此の鐵石が年々必要であるが、その九〇%を外國から輸入しなければならない。米國では貧鐵が可成の噸數生産されてはゐるけれども、高級品は少量の生産高を持つのみである。マンガンには二大重要用途がある。即ち化學上と冶金上に於て、ある。大部分の冶金工場に於ては一噸の銅に對して約一四ポンドのマンガンを含んでゐる普通の銅を製造する様になつた。比島の米國に支給する事の出来るのはクローム鐵の量に於ては、はなはだマンガンに於て、ある。昨年度は比島から米國向けマンガンの輸出高は五〇、〇〇〇噸を一寸越した些細な量だつた。間斷なき採鐵と鐵山の擴張は此の金屬の埋藏量を増大し需要の増加は生産を刺戟してゐる。

マンガンの莫大な埋藏量を有してゐるものは Mindanao に在る鐵鐵床である。評價する處に依れば、その鐵鐵石は約一%のマンガンを含有して居り、全鐵床では一〇、〇〇〇、〇〇〇噸からのマンガンを昇るとの事である。

米國がマンガンの供給を大部分アフリカ、ロシア、印度等に仰いでゐる故に、他の供給地に發見しなければならぬと云ふ事が明らかになつて來た。鐵山關係業者は米國がマンガンを比島に依存して來る場合を考慮して發見された、此の金屬を保留す可く努力してゐる。

比島の礦物資源を評價する事は當を得てゐない。それは前述の如く米國の必要な金屬以外のより商業的價值ある金屬があるからである。地方の生産者にとつては鐵及銅が莫大なる卑金屬收入をもたらしてゐる。

Canarines Norte の Philippine Iron Mines は最近七年間に日本向けに大部分の鐵鐵石を積出した。日本の市場は Philippine Iron Mines を「*UP*」その一萬人を越える労働者に依る一小都市を造る事を得せしめた。そして日本の此の買付けに依つて約一二、〇〇〇、〇〇〇比に上る額の配當金が年々株主に支拂つた。一九四〇年度の配當金は、前年株主に配當された總額四〇〇、〇〇〇比にして二一九、〇〇〇比だつた。

Philippine Iron Mines の一九四〇年度の生産総額は二、四三四、六五八比だった。此の鑛山の他に總額三、二〇六、七二二比を生産したる他の三鑛山がある。

即ち Gold Star Mining Co., Insular Mining & Samar Iron Mine で彼等も亦その全生産高を日本へ向けた。同年の總噸數は一、一五一、八九二噸に上り前年より五〇〇、〇〇〇噸の増加を示した。

技師の評價する處に依れば比島は二二、〇〇〇、〇〇〇噸の大鐵鑛床を有してゐるとの事である。その中 Philippine Iron Mines の埋藏量は五、〇〇〇、〇〇〇噸に上つてゐる。 Sulu 島に就て政府の技師は官有鑛床の鐵鑛石保留埋藏量は一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇噸を充分に越してゐると云つてゐる。此の鑛石には極く高價な金屬の副産物が附隨してゐる。此の鑛床に就ては鐵鑛石は數年間採鑛が可能であり、そしてそれが米國の工場の使用する所となるか、或ひは日本が最も有望である處の外國市場に向けられるかどうかはその時が来てみないと解らない事である。然し乍ら大部分の此の鑛石は貧鑛で特殊なる精鍊が必要であるが、同島には六〇%或はそれ以上の優秀鑛石を埋藏せる鑛床が二、三在る。

一、〇〇〇、〇〇〇噸から六、〇〇〇、〇〇〇噸の平均噸數を有する鑛床は、Sarang, Samar, そして Mariketa 島に在る。

戰爭は銅生産者をしてその生産高を増大す可く刺戟した。戰爭は比島に於ける唯一つの銅精鍊所の設立に關して影響せる處甚だ大である。

Luzon 島の北部に銅山を持つ The Lepanto Consolidated Mining Co. は完備せる現代的銅精鍊所をその銅鑛を處理し精鍊する爲めに建立した之は主として鑛石船積から精鍊に於ける運賃即約目的の爲めに成された。鐵に於けるが如く

銅生産者も亦全く日本市場に依存してゐる。日本が比島に接近してゐると云ふ事と日本の需要は短時日の間に市場を確實ならしめた。

比島に於ける二大銅生産會社 Lepanto Consolidated Mining Co., Hixber Gold Mining Co. とは一九三九年度の二、七六〇、五九三比に對して一九四〇年度には總額三、六三一、〇九九比を輸出した。此等の二大會社の株主は Hixber に在つては總額六一二、五〇〇比、Hixber に在つては總額二一九、四八八比の利益配當を受けた。先年度の生産高は Lepanto Consolidated が二、八〇二、七〇八比、Hixber が八二八、三四一比だったものである。Lepanto と Hixber の報告に依れば銅の埋藏量は四〇〇、〇〇〇噸と見積られてゐる。此の埋藏量は特に大量と云ふ程ではないが、此の會社は將來有望視され更に新鑛區を發見しつつある。

米國政府は可急的速かなる國防計畫の遂行の必要を力説して居り工場に於ける生産計畫を持続する爲めに軍事金屬資材を以てその主要部分を占める可きであらう。「クロム」鑛の「マンガ」そして冶金上の副産物等が米國政府にとつて主要であるとき比島は出来る限り助力を致さんと待機して居る。米國が米國に執つて非常に必要な此等の資材を比島から獲得利用されん事を望むものである。

と以上の様な報道がなされた。

五四、「ヌエバ・エシハ」州の鑛業に就て

「ヌエバ・エシハ」州の鑛業は未だ初期のもので、先驅者或は鑛業に對する認識の深い企業家が出なかつた爲、一九三

三年の産金熱の全島を風靡する時まで、礦物資源は其の實價を認められなかつた。礦區登記所に依れば同州は豊饒な耕地及林産物と共に天然資源には恵まれた土地であり、金及其他礦物は東北及東部山岳地帯に見出され、特に「ベニヤランダ」、「ババヤ」及「ガボン」の礦地には高品位の金鑛石があり、又河川にも同様な金が見受けられると云ふ。金の外、銀、滿俺、鐵、石炭及「クローム」の鑛床もあるのみならず、又「バンタバンガン」、「ボンガホン」及「ラウル」には鑛泉があり「ボンガボン」の鑛泉は土語で「熱泉」と云はれてゐる様に温度は低度から高度まであり、硫黄を含有するものである。

一九四〇年度に於て總計八四の鑛區が登録せられたが、その中七一が鑛脈區で一三が沖積鑛床區であり大部分の鑛區は「ラウル」及「ババヤ」に指定せられたもので、若し適當な鑿孔器具が使用せられて探鑛せらるるならば此の地方には幾多の鑛床が発見せらるるものと觀測せられて居る。現在までには殆んど之等鑛區は開發せられて居らないが、此れは全島に涉り、鑛山企業を膠着状態に置いた資金の潤滑によるもので、政府當局では若し充分に探鑛及開發事業が進められるならば、約一一、〇〇〇に上る鑛區數と住民の鑛業に對する關心から見て同州の礦物富源には非常に期待し得るものがあると思つてゐる。

又同州知事に據れば國立興發會社が本年「ババヤ」に四つの鑛區を登録したとの事であるが、若し之等鑛區が政府の企業により開發せられるのであれば、再び鑛山熱の起ることが期待せられるものであると云ふ比島全島に涉る豊富な未開發の資源及鑛物に對する政府の積極的な興發政策に副つて同州には現在小規模乍ら泥灰土或は石灰質岩の探鑛事業に成功しつつある二個人企業のある事が報せられた。

此の事業は同州「ラウル」郡の「マカトボンク」にて行はれて居り「ドミンゴ・ビ・ワイラクロサス」氏と「カメト・メンドサ」氏により經營せられてゐるものであるが、此の鑛物は一九三六年四月現在の經營者により発見せられもので、鑛區は六三「ヘクター」に及び鑛業好況時代に鑛山局に登録せられ一、五〇〇比の全額拂込資本を以て「Laura Iode Mining Product」を設立したのである。

經營者「ラクロザ」氏の述べる所では現在二七名の労働者が鑛山に働いて居るが、最近急速に製品の需要増加の爲、労働力を増しつつあるもので、回轉砥石及軟性特別研磨石の如き製品の見本は既に科學局へ送附され、其の分析結果は「カルシウム」を含有する事を示し軟性特別研磨石には八%の「カルシウム」を含み金屬研磨石として使用せられてゐる品位のものであると云ふ。

五五、輸出統制に關する件 (五月二十一日)

五月廿一日英字紙「ブリテン」紙の報ずる處に據れば昨日米國に於て實施中の重要軍需資材の輸出統制を比島を含む全屬領に適用せんとする法案が議會を通過し、米國大統領の署名を得る爲回送されたと云ふ。右法案に對し比島政府の支持が最も重要な點とされてゐるが、駐米比島委員「ホアキン・エリザベス」氏は上下院軍事委員會に於て「ケソン」大統領の輸出統制に對する支持を明かにしたものであるが、事實如何なる犠牲に於ても國防の爲には比島より絶對の支持を求めらるものであり、此の比島の協力を米國議員は満足してゐるが、既に風聽のある比島經濟問題の緩和に對する要求及或る種の抗議は比島人より提出される事を豫期してゐると述べた。

右米國輸出統制の比島への適用は「ルーズベルト」大統領が法案に署名すると同時に效力を發生する旨昨夕(廿日)或る

筋から洩らされたが米國では國務省が輸出統制を施行するもので、比島に於ては駐比高等辨務官を通じて法律を運行せしむるものであると觀察せられ、海軍が税關に事務所を置いて全ての船舶の出航を管理するものであらう。

比島主要生産品中此の法律の適用により影響を受けるものは、麻、銅、クローム、コブラ、椰子油、鐵及滿俺で國防に必要と認めらるる原料の輸出に當つては、總て許可を要するもので、比島に輸入せられる米國品及比島に生産せられ或は外國より比島へ輸入せらるるものにして、米國に於て統制せられるものと同性質のものに適用せらるるものである。在比島高等辨務官事務所では、既に此の適用に備へ、本年四月一日迄にその表を作つたが、尙追加を要するものもあり、其の後研究せられ後刻發表せられる旨事務所では述べた。

他方比島マニラ市會議長「マメル・デ・ラ・フエンテ」氏は當地輸出業者が米國議會に於ける比島への統制の適用の法案通過の切迫を觀察して、日本及其他の外國へ鐵、麻、及「コブラ」の輸出を急いでゐる旨を指摘して、敵國に大量獲得せらるる事を虞れ、米國々防に重要なる此等生産品の輸出増加を抑止する事を政府に懇願し、此の爲に正式の代表を比島高官及高等辨務官事務所に本日送らんとしてゐる外國人と共謀するものなりと呼び、此の種の輸出に従事してゐる外國人は追放すべきであり、又之等外國人の道具となつてゐる比島人を嚴罰に處すべきであると述べ、比島人が黄金より以上に品性を尊しとするものなる事を米國に示し、常に米國人と協力する準備ある事を示す絶好の機會であると述べた。

五六、レバント銅山の事業に就て

本年四月株主總會に發表せる一九四〇年の事業報告に據れば、同年の生産高は常に好記録を續け、鑛石埋藏量及財政状態よりも非常に堅實なもので、三割五分の配當を可能ならしむる利潤を擧げたのである。同年中は銅山開始以來の生産高を示し合計一、四三八、三二一、四〇九・九九トロイオンスの金及一〇三、八六四トロイオンスの銀が生産せられ、其の額約二、八〇二、七〇八比五五仙に達した。(第一表参照)

替銅鑛の輸出は一年を通じ比較的順調に行はれ、その輸出高一八、五五二英噸、價額二、七四七、二八〇比であるが(此れは最後の決算によるものではなく、此の精銅鑛の販賣より同年中に會社は約六〇三、一〇九比の利潤を得、資本金の三割五分に當る六一二、五〇〇比の配當を行ひ、尙一六、九四五比の剩餘金を示した。(第二表参照))

一九三九年の鑛石埋藏量の見積りは三九一、〇〇〇噸、見積額一、四〇七、一八〇比であつたが、昨年末の見積りでは三八八、二〇〇噸、見積額二、二五二、〇〇〇比で、その中二四八、六〇〇噸、見積額一、三一七、五八〇比が確定數量で、推定數量は一三九、六〇〇噸、見積額九三五、三二〇比となつてゐる。此の埋藏量の見積りに就て現實の噸數は一昨年末に比し幾分減少を示してゐるに拘らず、見積額に於て約五〇「パーセント」の増加を示してゐるのは鑛山の東南區域に於て開發しつつある鑛體が現在採鑛中の區域のものより狭いが相當高品位のものである事に原因するものである。又一九四〇年取扱の鑛石は後半期に於て急速に品位が上つたが、此れは採鑛中の區域の鑛石品位が良くなつた事と共に採鑛分類の方法の改良によるものである。(第三表参照)

會社の財政状態は運轉資本率が二對一である事により、その堅實性が窺はれ同期末の流動資本の一、〇九〇、三六九比に比し、負債は五六三、三〇〇比のみとなつて居り、資産總額は二、三三〇、二四九比で、鑛區財産三四九、三三三比、橋を含む道路三一、七七四比、建物、機械、器具類七三七、七〇五比据置經費一二一、〇八七比となつてゐる。

一九四〇年中に於ける最も顯著な事業は熔鑛爐の建設で同年五月開始し、十一月に完成したが、此の爐により高品位の銅銕を生産し精鍊の爲米國に送りその銅を米國內に於て取引せらるる値段により賣却して利益を享受せんとするものである。

又一九四〇年八月數個の沈澱選鑛函を鑛水により流し去る銅を回收する爲、鑛山の入口と製鍊所(ミル)の間に設置したが、この沈澱装置により得らるるものは平均含銅率七〇「パーセント」あり一噸約二六八比の價値あるものである。本年に入り同鑛山よりの最近の輸出は四月十日の三、六二六噸、價額約六〇萬比の精銅鑛(約二八%)で第一回積のものと共に、日本向輸出は七、六三六噸となつた。本月二十八日「ブリテン」紙の報ずる所に據れば會社は本鑛山開始以來始めて精銅鑛を昨日米國へ積出した旨、會社より發表せられたと云ふが、右は昨年建設の熔鑛爐により生産せられた銅銕で約五〇「パーセント」の銅を含むもので、五〇〇噸價額約十六萬比で「ワシントン」州「タコマ」の米國製鍊會社へ委託せられたものである。

此の會社の熔鑛爐建設以前は一九三七年末以來約二八%の精銅鑛の販賣に就ては、全然日本市場に依存して居たものであるが、世界情勢の急轉と共に米國市場への捌口を求むる爲に一九三九年末熔鑛爐の建設を計畫し一日七〇噸乃至一〇〇噸の能力を持つものにより銅銕を生産し、それにより運賃を縮少して世界市場に充てんとしたのである。

第一表

取扱鑛石(屯)	一九三九年	一九四〇年
生産選鑛高	一三七、二二二屯	一四八、四九九屯
	一四、八五四屯	二〇、四〇三同

銅生産高	八、三四二、四四二封度	一一、四三八、三二一封度
金生産高	五、一四八・八〇トロイオンス	一一、四〇九・九九トロイオンス
銀生産高	八三、五七七 同	一〇三、八六四 同
平均回收率	銅 八八・一九%	九〇・三二%
	金 六九・六六%	七四・七一%
	銀 七二・四四%	七九・七五%
精鍊平均品位	銅 二八・一四%	二八・〇一%
	金 〇・三四オンス/トン	〇・五三六オンス/トン
	銀 五・六五 同	五・一三 同

第二表 (輸出高)

船積	年月日	乾燥英噸	價額
第一五	二月六日	一、七八二・七三六噸	二六三、〇四七・六八比
第一六	四月十六日	二、九五〇・五三三	四三六、一八五・四四
第一七	六月六日	二、八三二・六二三	三九八、七一〇・一七
第一八	七月三十日	三、八〇八・〇五七	五〇四、七四七・〇六
第一九	九月廿二日	一、六〇七・一九六	二四〇、〇七〇・〇八
第二〇	十月廿五日	一、八五一・九三一	三〇九、六二五・四八
第二一	十二月二十日	三、七一九・二六三	五九四、八九四・七六
計		一八、五五二・三三九	二、七四七、二八〇・六七

第三表 (月別鑛石品位—原鑛)

月別	銅	金	銀
一月	三・五九%	〇・〇五七オンス/トン	〇・八四オンス/トン
二月	三・八五	〇・〇六五	〇・九四
三月	三・五一	〇・〇五八	〇・八一
四月	三・五三	〇・〇六四	〇・七六
五月	三・六四	〇・〇六三	〇・七六
六月	四・二一	〇・〇七五	〇・八二
七月	五・〇〇	〇・一二	〇・九三
八月	四・九三	〇・一一六	〇・九七
九月	四・六五	〇・一三五	〇・九二
十月	四・五九	〇・一五二	〇・九三
十一月	四・五五	〇・一三	〇・八六
十二月	四・八九	〇・一七九	〇・九九
平均	四・二四五	〇・一〇一	〇・八八

一七八

五七、比島鑛業週報 (五月十七日)

今週間に於て特に比島鑛業に影響を及ぼしたものは、比島内に於ける自發的軍需資材の統制動機と米國議會の比島へ

の許可制適用の法案の通過せんとしてゐる事で、どの程度卑金屬の統制が比島に實施せられるか判然としないが、此れに反影して最も顯著な輸出増加を見たものが鐵鑛である。茲に週報として各事業概況を報告すれば

(一) 鐵鑛業

現在迄唯一の鑛石の市場である日本を軍需資材の輸出統制により失ふ可能性の多分にある當地鐵鑛生産業者は適用の實施を見る前に出來得る限りの船腹を獲得して輸出を急いで居るが、その結果、本年に入つて一ヶ月平均一二〇、〇〇〇噸、價額約五六三、〇〇〇比を日本へ輸出した。即ち本年四ヶ月間の總輸出高は四八〇、五九一噸、價額約二、二七二、〇〇〇比で、一九四〇年の總輸出高の約四割に概當するものである。先月(四月)の積出しは從來の最高記録で、實に一四九、三九〇噸、價額七〇五、二九三比に達し三月の一二一、七〇四噸、價額五八五、〇八一比をも遙に超過するものであつた。

(二) 事業擴張

生産能力の擴張を確信付けられた Anteporo Mining Company は現在の二五噸能力の Amalgamated Mill 七五噸の Cyanidation Mill に擴張せんとして「バタンガス」州の「タイサン」にその竣工を急いで居るが、七月末には完了の豫定であると報告された。現在の會社の生産高は一年前二五噸「ミル」による作業開始以來月々九、〇〇〇比より三〇、〇〇〇比迄を上下して居たもので、先月は五一五噸の取扱鑛石より一八、一九一比五〇仙を回收し、本年四ヶ月間には一一三、三三九比の生産高があつた。

(三) 生産記録

今週中に報告されたものの中、生産記録を破つたものは「カマリネス・ノルテ」州の Santa Rosa Mining Company は

四月の生産高は五、三五三噸の取扱鑛石より一二〇、〇六〇比二一仙を回收し従來の最高記録である一一二、五一九比八三仙(取扱鑛石五、九二〇噸)を突破したもので、本年四ヶ月間の生産高は四〇九、七一二比三七仙に達し、昨年同期に比し約一五八、〇〇〇比の増産であつた。右の會社の外四月の生産高に好成績を挙げたものは Baguio Gold Mining Company で一二、五五五比の取扱鑛石より一九六、六五五比四六仙を回收し、三月の一九六、〇八〇比九二仙より僅か乍らも増産で、本年四ヶ月間に六九七、五四四比三六仙を生産し又 Gold Creek Mining Company も三月に比し約三、五〇〇比の増産を報したが、本年四ヶ月間には五九、四三七比のみで、昨年同期に比し約三、〇〇〇比の減産であつた。

(四) 回收率改良

小金山ではあるが Aldecoa Gold Mines & Tambis Gold Dredging Company とが將來の増産を報告した。即ち前者は Concentration Table の据付が最近完了の見込みで、その結果従來の七五%のものより、九〇%乃至九五%の回收率となる事を報じ、後者は最近非常によい地質に於て稼行が可能となるのみならず、給水も充分なる旨株主へ報告したので、先月は水不足の爲生産高を少なく、三月の一九、〇二三比に比し三七、五五〇立方ヤードより一〇、四二五比が回收されたのみであつた。

(五) 卑金屬

Zandales Chromite Mining Company より最近二、四六一噸、價額約四〇、六〇〇比の「クローム」鑛石が Filipina Mining Corporation を通じ日本へ積出された。
Compania Minera より約二、〇〇〇噸、價額六〇、〇〇〇比の滿俺鑛が Luzon Stevedoring (當地鑛石仲買商)へ賣

鑛せられたが、此れにより本月第一回のものと共に二、六五八噸、價額七九、七四〇比が渡された事になる。

五八、比島鑛業週報 (五月三十一日)

今週間の比島鑛業の特長は、八鑛山會社による配當の發表で、之等鑛山の大部分は年四回の配當を行つてゐる鑛山會社であるが、その中一ツは既に月々の配當政策を採つてゐるものである。即ち今週現金配當を發表せるものは Itogon Mining Co., Coco Grove Inc., Suyoc Consolidated Mining Co., United Paracale Mining Co., Paracale Gunnaus Consolidated Mining Co., Big Wedge Mining Co., Baguio Gold Mining Co., Acoje Mining Co.,
開發事業の経過報告中有望なものは Pan Philippine Corporation により發表せられたもので、夫れに據れば「ツリーシユアー・アイランド」の鑛區に於て鑛脈に當つたとの事で將來の探鑛に對し、勇氣付けられたものと思はれる。
輸出統制の比島適用を見込し、今週初めは非常に卑金屬の船積が促進せられたが、今月二十九日正午積込停止せられ鐵鑛を除く卑金屬の輸出に對する前途見透しは全く不可能な状態にある。

一、配當

(A) Acoje Mining Co., は米國々防問題に關聯して最近事業頓に奮ひつつある「クローム」鑛山會社で現在確實に年四回の配當を行ふ立場となり、本年に入り二回目の配當を發表したが、それは額面に就き(一〇仙)一仙で六月十日記名の株主に對して同年十六日總額九〇、〇〇〇比を配當せんとするものである。

(B) Paracale Gunnaus 最近事業は好調を續け、主要金山の一つとなつた同社は月々定期の配當を行つて居るもの

で、六月六日記名の株主に對し、同月二十六日額面に就き〇・五仙、總額二五、〇〇〇比の配當を發表したのであるが、之れにより本年一月の〇・五仙の特別配當と共に本年に入つて額面に就て四仙總額二〇〇、〇〇〇比を配當する事となる。

(C) Iogon Mining Company 「イースマン」系の主要鑛山である同社も定期配當策を採らんとして居り、本年第二期のものとして、六月二十一日記名の株主に對し、同月三十日額面に就き一仙の配當を發表せるが、此の額二五〇、〇〇〇比で第一回のもとの共に額面に就き二仙となり五〇〇、〇〇〇比に上るものである。

(D) United Paracale も亦定期配當を行はんとして居り、重役會議の結果、第一回目の配當を發表したが、それは六月十九日記名の株主に對し、同月二十六日額面に就き一仙、總額一三〇、〇〇〇比の配當を行ふもので、此れにより本年に入つてからの配當は額面に付、二仙即ち二六〇、〇〇〇比となる。

(E) Coko Grove の發表によれば總額七五、〇〇〇比即ち額面に對して〇・五仙の配當が六月十四日記名の株主に對し同月二十日支拂はれるが、此れで本年の配當總額は一五〇、〇〇〇比となる。

(F) Baguio Gold は第二回目の配當として五月三十日記名の株主に對し額面に就き一仙、總額一二九、九九〇比の配當を行ふ旨發表したが此れで本年の總配當額は二五九、九八〇比となる。

(G) Big wedge は五月三十日記名の株主に對し六月五日額面に就き一仙、總額七七、七六九比を配當する旨發表したが、此れで本年の總配當額は額面に付二仙に當る一五五、五三八比となる。

開發事業

Treasure Island Mines の鑛區を經營せる Pan Philippine Corporation の發表する處に據れば「一五〇「ハンヤ」上

で、A 鑛脈に掘當てたと云ふが、之れにより鑛區の生命は延長せられたもので、鑛脈は少くも現在開發中の高さより三〇〇呎下方に延びる可能性が強く、鑛山の埋藏量を増加せしめる爲の探鑛區域も擴大せられたものであらう。

五九、輸出統制に關する件 (六月三日)

六月三日の當地英字紙「トリビュン」紙の記事によれば、昨二日空路米國より到着せる米國務省統制課次長「チャーレス・エッチ・ヨスト」氏は米國の輸出統制の比島への適用は比島經濟に悪影響を及ぼさざる範圍に行政せらるる旨述べたが、同氏は駐比米國高等辨務官の要請により統制事務を補助する爲、派遣せられたもので、客年七月米國に於ける輸出統制實施以來華府に於て實務を採つた經驗のある人物である。即ち同氏の述ぶる處では比島への適用は輸出禁止に非ず、又特に日本への比島主要生産品の順當な輸出を阻害せんとするものでなく、國內供給に不充分と認められるもの外は許可の發給は恐らく簡單に行はれて比島貿易を困難ならしむるものではなからうと云ふのである。

本日發行の「ブリテン」紙には「國防上重要と認めらるる資材中鈔くも屑鐵、銅選鑛が米國の輸出統制下に米國以外への輸出が禁ぜられるものであらう」と述べ「昨晚當局關係邊より洩らされた處では、高等辨務官は米國政府の直接の指令の下に日本向銅鑛の輸出許可申請を却下したと云ふが、右は華府のUP電に基き一九四一年度の銅の不足を豫期する米國生産管理局の銅に對する統制に呼應して爲されたものである」との記事が掲載せられたが、右は華府のUP電による臆測なるや或は米國政府よりの指令なりや不明の點あり、何れ正確な報道あるものと思はれるが差當り御參考迄に報告す。

六〇、比島鑛業週報 (六月十四日)

金山よりの生産報告は依然として好成績で Balatok Mining Company Benguet Consolidated Mining Co., Cal Horr 及 Ipo Gold Mining を其の系統下に置く「ハウザーマン」會社の生産高は四月に比し十萬比近くの増産を示したと云ふ。卑金屬鑛物の生産に就ては輸出統制が最近完全に鑛物輸出に影響して來た様で、事業に關し殆んど報告が無かつた。

一、生産

(イ)「ハウザーマン」系統

事業擴張により同系統下の四金山の五月の總生産高は二、二六九、〇九四比で、四月の二、一七四、三〇〇比に比し九四、七〇〇比の増産であつた。個々の金山の詳細はないが「ブラトック」金山のみで百萬比以上の生産高があり「ヤングット」金山は四月に比し幾分減産であつたが「カル・ホール」及「イボ」金山は夫々好成績を示した。

(D)「ソリアノ」系統

International Engineering Corporation により經營せられて居る「ソリアノ」系金山の中「マสบタ」合同金山が本年の最高記録を示す處の五七二、一四七比の生産高があつた。同系統下の Masbate Consolidated, Antanok Goldfield, I X I Mining Co., Batong-Bulay North Camarines 及 Paracale National の五月の總生産高は一、二七六、一一八比であつた。

(ハ)「ニェルソン」系統

同系統下の二銅山 Lepanto Consolidated 及 Hixbar Gold Mine 並に一金山 Paracale Gunmas の五月の生産高は五六九、八八五比で、四月の五七八、一三八比に比し幾分の減産であつた。前二者は作業場の擴張の爲増産であつたが後者の採掘量の減つた爲である。

(ニ)「Treasure Island」

同金山は Pan Philippine Corporation により經營せられてゐるが五月の處理鑛石の七、七一五噸より一八八、五七七比の金及銀を回收した。之の生産高は四月に比し約三、五〇〇比の増産であり、取扱鑛石の品位は四月と同程度のものであつたが、鑛量の増加から來たものである。

二、開發事業

I X I Mining Company の報告せる處では同社の地下開發事業は一、六二二呎の長さに進められたが、その中三二二九呎に鑛石があり、其の他には見出す事が出来なかつたと云ふ。

三、利潤

經營費の上昇及戰爭による商業界の不安定にも不拘「マースマン」會社は一九四一年四月三十日に終る年度決算の結果、普通株一株に對し一八・六仙に等しい三七二、六五二比五〇仙の利潤を挙げた。優先株に支拂はれた配當は一株に付八仙に當る總計一五〇、四四八比であつた。同社一年間の經營方針に就て社長は保守的な商策を採り新規企業はなかつたが、或る種の新産業に就て考慮して居り、現在調査中であると述べた。

四、配當

Big Wedge Mine の經營社 Atok Gold Mining Co. は過去數年間に樹てられた配當政策により本年も昨年の率を保

ち、一株に就き一仙の配當を發表した。即ち配當總額は十萬比に達し、六月二十一日記名の株主に七月一日支拂はれるもので、之れより一九四一年の上半季の配當は一株二仙に當る二十萬比となる。

六一、輸出統制に關する件 (六月十九日)

其後輸出統制法實施に就きては停頓の形で、先便に申し上げし様、發供主任の到着を待つて且具體的に一步を進めるものと思はれる。

即ち現在迄の實施方を見るに當然許可となつても可と思はれるものに就てすら許可取消又は許可が下りない有様で、比島派遣員も本國の方針の詳細が何邊にあるやを知り得ず、許可せざるが安全なりと云ふ見地より斯る行爲をなしつつあるものと思はれる。即ち許可取消しの石原の鐵礦及三井の鐵礦にしても、船の日本を出航せざるものに就き、斯る行爲をなせるものにして其の取消理由も

- 一、米國本國側の意向と反する結果になる慮有り
- 二、貴店是他會社より積荷數が多量なり

と云ふが如き徹底を缺いた理由である。前記の如く其の方針の確立と共に全く見込なき物、許可の程度等知り得るも現在には徒に其の確立を待つと云ふ状態であるが、其の間邦人會社も其の許可に努力し、太平鐵業はMIOの三五%物として「ボホール」島「ギンドルマン」の物の許可を最近取るに至つた。(許可を獲つた事は總領事館に於ても本日知りたる如く全く極秘とされて居た。其の理由とする所は他會社に割當數量に食ひ込まれると云ふにあるらしい)右は品位の低物と

云ふ點等に於て許可されたものと思はれる。他會社に於ても同様の色々の考究が爲されて居るものの如きも(太平、三井の銅は全く見込なきとの豫想が強い)未だ其の結果は判らない。前電文で申し上げし様

- 一、鐵は例年の八割位
- 二、銅は殆んど低品位のものも見込ない。

(註 御承知の様「レバント」の物は二八%物で、其上(五%位Cu)に迄して居る状態で「レバント」の銅は全く見込なきと云ふも過言ではない。フェキスバーはCuも八%位の物である故、之れを「レバント」に送りて濃縮すると云ふ事は經濟が許さぬも原礦をそのまま米國へ輸送するものと思はれる。之れ以下の銅礦で一船と云ふ様多量の銅礦を産する所は外に「サレミヒオ」以外鐵山がないが、此處も現在は其の採掘方針の亂雜から此後一船分出すと云ふ事も相當の「月」を要すると見られて居る。(之れも先般、服部商店で輸出禁止を申渡された所で必ず安全とは云ひ難い)他に小さな鐵山は大して當てになし得ない。

一、「マンガ」前記の如く其の運動方法及低品位の物であると云ふ點より未だ輸出の可能性は強いが之れもあまり期待出来ないものである。

一、「クロム」之れも全く輸出不許可となるものとは考へられぬが「マンガ」と共に米國の最も希望する鐵種(四種の中)である故、今迄の如き數量は當然期待出来ないものである。

猶電文は外部への漏れる心配もあるので遅くなりましたが、船中で打つたものであります。東邦の「クロム」「マンガ」は依然申請中で許可が下りて居りません。

此後此等に關する電文は次の略語を用ひ度いと思ひます。六月二十一日午前十一時出發際

東邦金屬の「クロム」礦は全然見込なき由、「マンガン」礦も極めて低品の物は許可となるやも知れぬも、分析試料採取の立會等に依りて三五%以下のものではないと許可の見込なく、斯くて前途不透明の状態は生産輸出に極めて不利にて鋼、「クロム」「マンガン」三種は輸出不能と云ふも過言に非ざる様な有様となれり。

六二、比律賓對日貿易

對日輸出

	一九四〇年	一九三九年
綿及綿製品	六、五一七、六四七比	七、〇二五、五九〇比
ゴム及ゴム製品	二四三、二四四	二三三、七八〇
日用品	一四九、七〇〇	一三二、二〇六
蔬菜及加工品	二三九、〇七八	三一三、六九四
魚類及同加工品	三五三、八八〇	九九四、四二六
レヨン其他人造纖維及製品	七一四、八四二	一、二八五、四二八
紙及製品	三二〇、一六一	二七二、一〇一
羊毛及羊毛製品	六〇五、六九一	八二、二八一
石炭	二三六、七〇六	五三四、六一九
硝子及同製品	三二二、二八八	五八八、〇九四

陶土及陶製品
金屬及金屬製品
農業電氣發電用機械ヲ除ク機械ヲ含ム
化學製品、藥品、染料醫藥

圓扇	四四二、八一六	四九四、〇三九
洋傘	四八三、五八八	一、一九四、七三〇
マタ	二八九、一二六	二八四、四二九
マツ	二一、二八九	二八、七〇五
鉛筆及ペン	二八、七三〇	一五、九〇五
顔料、塗料	二二、六三九	三三、五七六
石鹼、化粧品	五三、〇一〇	七〇、九八六
肥料	二七、四八三	四五、三一〇
玩具、遊戲用品	三〇、五三七	四二、八一四
箒、アラツシ	二七、九八六	四七、四二五
	二二、二六九	六、一一六
	一六六、九七五	一七一、四六六
	二三、九三八	二二、九二六

對日輸入

	一九四〇年	一九三九年
鐵	六三九、九四五比	二三九、〇〇〇比
銅	三〇三、八五七	六一二、五八二
クロマイト	五、五二九、四八〇	五、〇九七、七四八
石		一八九

マ	ン	ガ	ン	一三〇、八七〇	一九〇
精銅	及	金	ヨリノ銅	六四九、三三六	四六七、三一六
金	銀	塊			二六七、九三六
金塊	ヨリノ	銀			一七一、七五〇
金精	銀	ヨリノ	銀	一三九、〇二九	八七、五六五
鐵	及	銅	製品	二三四、三〇〇	三、八二三、五一五
ア	バ	カ		五、九四九、九二九	二、二八〇、二〇四
木材	及	材	木	一、八一〇、八五三	四三三、八五五
動物	及	動物	製品	二二一、〇二〇	三一六、八六〇
タバコ	及	製	品	一七三	一四二、八六〇
砂		糖		六、〇八〇	一四五、三六二
コ	ブ	ラ		二一、四四一	三二、二八一
龍	舌	蘭		九、七九一	三二、二八一
カ	ホ	ツ	ク	二、二六二	八一、五〇〇
ラ	ミ	ク		六、七三〇	
眞		銀			

六三、何故フィリッピンは米國との經濟談判の 期日を早める事を勧告するか

サルバアト・ビー・ロツペ
(Salvador P. Lopez)

註 比島は米國との間に、タイデングス・マクダフィー法案に據り、一九四六年獨立する事になつて居るが、其後の國際間の情勢に依り、著しく其の經濟的弱點を現すに至り、比島政府中にはタイデングス・マクダフィー法案の修正を望む者が極めて多數あり、政府中にあつては財政的に比島第一人者たる現大藏大臣マヌエル・ロハス氏を米國へ派遣し以て米比間の經濟調整を計らんとしつゝあるが一方ロハス氏は、本年十一月に行はれる大統領選挙を控へ、其の政治的地盤等を考慮し渡米を好まず、又米國に於ても同法案の修正に對しては比島側の熱意に反して賛成者少く、特に同法案の創案者は之れに對して極力反對して居る有様で、比島側の期待に副ひ得るや否や甚だ疑問とされ比島の焦慮を見る事が出来る。

比島は貿易に於て其の八〇%以上を米國に依存し、輸出に對しては、砂糖年八十五萬噸を無税で米國へ輸出し得る特恵を有するも、本年は未だに六十萬噸を積出したるに過ぎず残りの二十五萬噸も本年十月中に積出さねばならぬが、本年は歐洲大戰の餘波を受け米國側の廻船も意の如くならず。その輸出の見込も望み薄の状態である。此の砂糖の輸出額は比島の輸出額中最高位を示めし一億三千比の價格にも昇るものであり、總輸出額の約四%を占め、比島産業の重要物

責である。

加之米國側船舶の不圓滑は麻、コブラ等の輸出品及輸入品たる諸物品の不足となつて現れ、比島の物價は最近急激に騰貴しつゝあり又一方に於ては輸出統制法の實施に依り、失業者の續出等各方面に於ける經濟界の變遷に遭遇し比島は其の苦惱を深刻に味ひつつある有様である。

本編は比島經濟界の第一人者として自他共に許すロハス氏の説を紹介せるものである。

我々は全力を盡して、我々フィリッピン人の財政經濟の改善を希ひ又其の再調整に對する責任もあり、而して此の責任を果す爲め凡ゆる努力を惜まないものである。従つて斯る事實に就いて米國側の熱意を希望するものであるが、若し米國側に於て、此の事に就いて賛意を表さない場合は、余は個人としてもこの事項に就き最大の努力を拂はんとして居るものである。

比律賓の大藏大臣たるマヌエル・ロハス氏は、米國政府の比島に對する財政經濟綱領に對して焦慮を示しつつ、或る會合に於て、米國合衆國と比島政府との緊急商議開催の案に付いて詳さに其の意見を述べた。

彼は米國政府が行はんとしつゝある比島への財政經濟綱領に對して米國の批判家が其の落度を指摘し、誤れる政策を採れるものとして、俊烈なる非難を浴びせてゐるにも拘はらず、然らば如何にすべきかといふ事に就き語らぬとして、抗議し現在直面せる比島の困難なる財政を暗示した。

大藏大臣ロハス氏の演説の大意は次ぎの如くである。

「五年前に於て、我々は一九四六年に比島は獨立すべく約束し、又その以前に於て經濟財政に就き準備する様米國と約束した此の約束に於けるタイディングス・マクダフィー法案の適用は常態に於てさへ至難の事項であるが、此れは大戦勃

發の爲我々の計畫及び色々の想像は閑却されねばならぬ事になつてしまつたと同時に此れらの條項は緊急に修正する様心掛けねばならぬ」と云ひタイディングス・マクダフィー法令中の比島より合衆國向けの輸出品に對する關稅賦課を苦心して練り上げた。彼はこの事に就き次の如く其の修正に關し詳細なる提議をなした。即ち

- 一、調整の期限は獨立承認十年後の一九五六年迄延期する事
- 二、輸出割當及び關稅は一九四一年に開始するを變更し歐洲戰爭終了四年後より適用を開始する事
- 三、フィリッピンより合衆國向けの輸出品に課せられる關稅は一九五六年に於て、其後無期限に有效なる優先貿易協定の下に五〇%或ひはそれ以下に固定さるべき事
- 四、フィリッピン向けの米國輸出品に對しても比島より米國向けの輸出品に對し課稅されると同様に、同年の稅金を課する事

六四、何故調整は承認後十年後の一九五六年迄延期すべきや？

フィリッピン問題連帶準備委員會

(Joint Preparatory Committee on Philippine Affairs) に於ては一九六〇年の期限を、一九五六年に變更せる理由に就き、ロハス藏相は説明して居る。

前委員會の計畫に依れば、米國の關稅は一九四一年より一九六〇年に至る二十年間に延長し、稅率は年々五%づつ増

加し二十年後には外國同様の税率が米國向けの品物に對して課せられる。斯る計畫に依れば一九五一年には全税の五〇%が比島の輸出品に課せられる事となるが、これは事實上、紙上の特惠のみで何等得る處がない。例へば比島の砂糖に課せられた五〇%の税は我々に有名無實の利益を與へるのみである。

然るに私(ロハス藏相)の計畫に従へば戦争終了は一九四六年と見てそれ以後四年目より課税の適用をなし、次第に増加し一九五六年に五〇%或はそれ以下に達する事となる。此の點に達した時、兩國間に締結された優先貿易協定の如きものに依つて、無期限に均一とされ延長するのである。

即ち若し戦争が一九四一年に終了するものとすれば、關稅賦課は一九四五年に始められ、一九五六年に至る迄の十一年間に亘り五〇%の税率に至るもので年々四、五%の割合となるのである。

調整の時期に就いて

ロハス藏相は次ぎの様に云つて居る。

戦争終了と關稅賦課開始との間に何故に四年の期間を置いたか？ それは平和復舊直後に於ては火急な善後策を要する再建の時期であつて、無理な生産價格暴落、暫時の戦後俄景氣、相場下落等を惹起する恐れが充分ある。

「我々は我々自身を此等不規則なる條件に順應させなくてはならぬ。而してそれには四年間かゝると信ずる。」と
米比島間提案の貿易會議は今年中に開催の様子も見えない事を指摘して、彼は、此の目的のために必要な協定の成立されない理由が了解出来ぬと云つてゐる。

藏相の意見によれば「新なる協定は直ちに作らなければならぬ。何故ならば、一九四〇年一月一日より賦課さ

れる五パーセントの税は、合衆國向けの我が輸出品の如何なるものも持續する事は出来ぬ。戦争勃發による高價な運賃並びに保険料は、現在の貿易協定を立證する色々の利潤を帳消しとしてしまつた。」と

附帶的要因

今年中に、米比貿易準備委員會が設置される見込のない事を指摘し、此の問題の中には數字的なものを持つて説明出来ぬ色々な附帶的要因があると稱し、ロハス藏相は比島政府はそれにも拘らず人力のあらん限りを盡して新な状態に順應すべく全力を盡して居る事を強調し

喩へ現に我々のなしつつある統制以上の條件で及ばない事が出来てもそれは、我々の責任ではない、我々は既に最善を盡し、又現在も盡しつつある。之れ以上の財政經濟再調整に關する責任は米國の官吏が採るべきであらう、と主張した。次ぎに比島經濟の再調整現事業を完成する爲めに如何なる事をなすべきかに就き又試みるべきかに就き、一つの産業計畫がある。之の事に就いてはクソン大統領が未來に於ける如何なる變化に於てもなすべきであると發表して居る。その計畫を示せば

新收穫獎勵

政府は綿及び護謨の新收穫の産出を創始し獎勵してゐる。然し兩者共、特に綿は實驗的段階を経なければならぬ。我々が今日護謨の栽培を始めるとすれば、生産の始まるまでに少くとも五年或ひは七年の間待たねばならぬ。また護謨について疑ひを懐き、我々がこの農業企業の新分野を開く事を信ぜぬ合衆國高等辯務官セーヤー (Sayre) 氏に明らかにする必要の諸問題があるとロハス氏は云つてゐる。

「我々は何を爲すべきか、我々にこれ以上砂糖も、椰子の實もマニラ麻も煙草も産出する事は出来ぬ。然らば米がある

と云ふであらう然し我々は米の産出に於ては、既に飽和點に接近しつつある。若し我々が砂糖島を米田に變更し始むれば、間もなく米穀市場に過剩を來し、産米地方の小作人の生活は以前にも増して窮迫するであらう」

政府は綿の實驗を率先して行つてゐるとロハス蔵相は云つた。今年北部ミンダナオ (Mindanao) に於て五百ヘクタールに棉を植え付けた。而して來年は面積二千ヘクタールに増大されるであらう。彼は比島に於て、來年は一萬ヘクタール、また一九四四年までには二萬五千ヘクタールの産出を消費出來るやうになるであらうと見積つてゐる。

護謨に執着

コロナダル谷 (Koronadal Valley) に於ては植民達は彼等の所有地の半分以上を護謨生産のために耕作せず、他の半分は特に生活上の收穫に割當てると云ふ條件の下に護謨生産を奨励してゐる。

ロハス蔵相は人工護謨が自然護謨を威嚇してゐるとは信じない。人工護謨を生産するには自然護謨より三倍も費用がかかる。政府が計畫して居る護謨計畫に従へば生産費は事實上皆無といふ事になる。

世界の市場に綿と護謨が溢れ、他の近隣國で既に多量に産出される輸出品の生産に従事する事は冒險的であるといふ小異議に答へてロハス蔵相は左の如く云つてゐる。

「我々は何物かを生産し、我々の生産せるものを世界市場に於て競争的條件の下に賣り捌かなければならない。我々は外部から購入せねばならぬ多くの肝要なる商品がある。然し我々は賣らなければ買ふ事が出來ず、賣るためには我々は生産せねばならぬ。我々は合衆國以外の市場に向けて嚴密に競争的條件の下に賣らねばならぬ事は如何に強調してもなほ足らぬ思である。此の問題については選擇の餘地はなす。」と

變換は漸次なされるべきこと

砂糖地域に於けるそれに代る農作物の收穫が相當大量に可能であると云ふ一般的の考へをロハス蔵相は講じた。斯様な地域の或部分は、その殘部の生産能力がその差を補ふ程度に増加せる場合は漸次砂糖生産を取り止める事が出來るのであるが、斯る事は急激にはなし得ない。それ故、彼は砂糖以外の收穫に變換する事は出來得る限り徐々に行はるべきであると説明してゐる。配當及び關稅の迅速な賦課により、急激なる變化は産業の滅亡を來たす所以となる。何故かと云へば糖業者は他の企業に彼等の投資を移す暇がないからである。

歳入の低下

關稅賦課の結果として來るべき年に於ける歳入の豫測的減少を即座に見積つて、ロハス蔵相は次の如く豫言した。即ち

一、稅關徵收三〇パーセント減少。

二、一五—二〇パーセントの國內歳入減少。

國內歳入徵收金の減退は見積り困難なる事。然しながら彼は販賣稅のみは約一五パーセント、收入稅は凡そ五〇パーセントの減少を來すと信じてゐる。(此等兩者は政府歳入の二大根源である。)

更に彼は合衆國からの輸入品の數量及び價格の高騰は輸入者達が商品入手の困難が未來に起る事を豫想し、その對策として貯藏してゐるといふ事實に起因するのであると述べ、來年からは輸入は低下するであらうと信じてゐる。

尙ロハス蔵相は、彼がフィリッピン人をして、將來招致される所の難問題を熱心に考慮する事を熱望するため、早期に會議を開催するやう敢えて提言するものであると總括的言明をなし、彼等は如何なる事態が起りつつあるかを知る資格があり、而して何事も彼等から隠匿さるべきでないと考へてゐる。

「以上に於て余はフィリピン問題の政治的局面については強調しなかつた。何故ならばロハス蔵相は常に新協定はタイディングスマクダファイ法令 (Tydings Mc Duffie Act) 中に樹立された獨立綱領には何等變更を加へずして、成立する事が出来、又さるべきであると臆断してゐるからである。」と彼は結んだ。

六五、米比鑛業と需給關係

一、總說

比島は「タイディングス・マクダフィー」獨立法により、一九四六年米國より經濟的にも將又政治的にも完全に獨立を許容せらるゝものなるも、現下の世界情勢より見て、比島が果して獨立法に何等の修正を加へられず、永年の宿望を達し得るや否や疑問とする處なり。元來米國が比島に獨立を許容せる動機は純然たる經濟的見地より出發した事情もあり、又獨立法が米國議會を通過せる當時の世界情勢は現在の如く緊迫し居らず、米國より見て比島の政治及經濟的利用價值極めて少なりし爲、獨立せしむるを得策とした結果に基づくものとも云ひ得るなり。

然るに現在の比島は米國の軍事及政治的重要性を無視し得ざるものとなり、他方比島自身の立場も經濟的獨立性が薄弱となり、米國との通商互惠條約の延長を要する時に當り、兩國間の軍事、政治及經濟に非常に緊密なる關係を生ぜんとするものなり。

即ち平時に於ける比島の立場と、米國の戰時經濟下の立場とは明かに區別せらるべきものにして、平時に於ては米國は國內生産を殆んど見ざる滿俺及「クローム」等の如き重要鑛物も經濟的たる事を原則として、最も經費の廉い供給源

を利用し得るも、現在の如き準戰時經濟下に於ては、政治及軍事的な統制下に置き得る國より需要せざるを得ざるなり。

米國は戰爭偶發を考慮し、原料資源に關し總括的研究を爲せるが米國は他國に比し世界の重要原料の過半数を消費し居るにも拘らず、「ソ」聯を除き、他の如何なる大國よりも國內の資源により平時の需要を殆んど滿し得るものにして假に米國々に生産不足を見る原料に對しても、戰略的地位より見て、其の勢力範圍よりの輸入により夫れを補ひ得る立場にあり。

右の如き調査結果にも拘らず、米國陸軍省は戰爭勃發の際の原料缺乏を補填する爲、海上支配權を完全に喪失せる假定の下に、二ヶ年間に亘る戰爭の必要を考慮し滿俺、「クローム」、「ニッケル」、「タンダステン」、錫、「アンチモニー」、水銀、「ブラチナ」、雲母、硝酸鹽等の獲得計畫を樹立せり。

斯くの如き狀勢下に於て、米國より視た比島の重要性は生産原料特に軍需鑛物資源の生産力に支配せらるゝ事、頗る大にして米比間の需給關係を明かにする事は、比島の國際的立場をより鮮明にするものと思考す。然し茲には單に比島に生産鑛物、銅、金、滿俺、「クローム」及鐵鑛に就き詳述せんとす。

一、米國の國內生産と消費

米國の鑛産物中現在比島に生産せられつゝある金、銅、滿俺、「クローム」及鐵鑛に就き米比間の關係を述ぶるに當り先づ米本土の同鑛物の生産と消費關係を各鑛種別に記載せんとす、

(イ) 金

比島を除く米國及其の屬領の産金高は左に示す通り世界生産高の平均一一%を占むるものにして、之に加へ近年米

國への金塊の流入は未曾有にして、需給關係を生ぜざるものなる爲、茲には單に生産高を示すに止めたり。(單位オンス)

	米國生産高	世界生産高	生産率
一九三七年	四、〇八八、〇四六	三四、九八三、〇〇〇	一一・七%
一九三八年	四、一八七、〇四七	三七、二二二、〇〇〇	一一・二%
一九三九年	四、二六八、四六九	三九、七八〇、〇〇〇	一〇・七%

(ロ) 銅

米國鑛山局により發表せられたる一九三五年乃至三八年の比島を除く米國の銅生産高は左の如し。(單位封度)

	米國生産高	世界生産高	生産率
一九三五年	七六〇、九七九、八〇二	不 明	不 明
一九三六年	一、二二九、〇三〇、七一九	三、八〇五、二六八、九一七	三二・三%
一九三七年	一、六八三、九九六、〇〇〇	五、一三五、八七八、三四二	三二・七九%
一九三八年	一、一五五、五二五、一六〇	不 明	不 明

國內消費量は明かならざるも、左に示す所に依り、國內生産と輸入數量に前年末の貯藏量を加へ、それより輸出せる銅塊及年末の貯藏量を控除する時、同年間の消費高に略々近接する數字を表し得。(單位封度)

生産高及輸入高	一九三五年	一、九三三、五八二	一九三七年	二、一四八、六〇二、六一八
前年末貯藏量	一、二一三、七五三、四六八	一、六五四、五四〇、六四二	二、二〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二、二〇〇、〇〇〇、〇〇〇

計	一、七八二、七五三、四六八	二、〇〇四、五四〇、六四二	二、三六八、六〇二、六一八
輸出數量	五五〇、〇一二、三二一	四七二、一八二、九二二	六二〇、七九一、〇二九
年末貯藏量	三五〇、〇〇〇、〇〇〇	二二〇、〇〇〇、〇〇〇	三五八、〇〇〇、〇〇〇
計	九〇〇、〇一二、三二〇	六九二、一八二、九二二	九七八、七九一、〇二九
消費見積高	八八二、七四一、一四八	一、三一二、三五七、七二〇	一、三八九、八一、五八九

生産高及輸入高	一九三八年	一、五八八、四三四、七五四
前年末貯藏量	三五八、〇〇〇、〇〇〇	
計	一、九四六、四三四、七五四	
輸出數量	七七〇、四四六、九四五	
年末貯藏量	三六二、〇〇〇、〇〇〇	
計	一、一三二、四四六、九四五	
消費見積高	八一三、九八七、八〇九	

(ハ) 滿俺鐵

軍需資材中合金々屬材料として、最も重要なる高品位滿俺の米本土生産は左に示す通り極めて少なく、世界生産高の1%にも達せざる爲、海外よりの輸入により國內消費に充當し居るものなるが、現在の情勢下に米國としては、戰爭勃發を假定し、鑛物の獲得貯藏に大童となり居るものにして、後記する通り比島生産の滿俺鐵に對し最近深く關心を拂ひつゝあるものなり。(單位噸)

年 別	三五%以上鑛石	一〇%乃至三五%	五%乃至一〇%含滿俺鐵
一九三五年	一六、六七九	九三、二九一	四三〇、八九三
一九三六年	一八、五五七	九八、九六二	八四一、五五七
一九三七年	二六、四一九	一五一、九五五	一、一八九、〇一七
一九三八年	一六、九八九	三三、六二〇	二七五、二四〇

一九三八年の國內消費量は左により推定量を知り得、但し國內生産高として示せる數字中には「プエルトリコ」より輸入せられたる鑛石も含む。(單位噸)

生産高 輸入量 消費可能量	三五%以上ノ鑛石		一〇%乃至三五%鑛石		五%乃至一〇%含滿俺鐵	
	數量	含有平均率	數量	含有平均率	數量	含有平均率
	二六、三四四	四五%	七二、六九九	一六%	二七五、二四〇	七・四%
	四八三、五八八	四八%	三〇、〇五一	二九%	七五、二八五	七・七%
	五〇九、九三二	四八%	一〇二、七五〇	二〇%	三五〇、五二五	七・五%

(ニ)「クローム」鑛

米國內の「クローム」生産高は極めて少なく、主として「カルフォルニア」より生産せられ、一九三七年には四五%以上のもの二、〇〇六噸をそれ以下の品位鑛石二、三二一噸にして、一九三八年には計八二二噸に過ぎず、全然その莫大なる消費に對して、外國より供給を仰がざるを得ざるものなる處、近年比島の「クローム」鑛業の隆盛に伴ひ鑛石獲得の氣運頗る濃厚となりしものなり。

國內の消費量は滿俺の場合と同様消費者(工場)の手持量不明の爲詳かならざるも左記の輸入量より略了解し得るものなり。(單位噸)

年	輸入數量	酸化クローム含有量
一九三四年	一九二、二九七	不明
一九三五年	二五九、〇六三	同
一九三六年	三二四、二五八	同
一九三七年	五五三、九一六	同
一九三八年	三五二、〇八五	一六三、五七〇

(ホ) 鐵 鑛

左に示す通り米國は世界第一の鐵鑛産出國であるが、それと共に消費量も亦世界の首位を占むるものなる爲、年平均二百萬噸を輸入して國內消費に補充し居れり。然し此の種鑛石は廉價の爲、比島よりは運賃の關係上輸入不可能視さる。(單位噸)

年	米本國生産高	世界生産高	國內生産率
一九三五年	三一、〇三〇、四二二	一四〇、九〇〇、〇〇〇	二二%
一九三六年	四九、五七一、八〇四	一七三、七〇〇、〇〇〇	二九%
一九三七年	七三、二五〇、六四九	二二三、七〇〇、〇〇〇	三四%
一九三八年	二八、九〇三、八六一	不明	不明

一九三八年の統計によれば、一八、五八二、三二二噸の鉄鑛製造の爲左の様に鑛石其の他が消費せられたり。(單位噸)

噸)

國內生産鑽石	輸入鑽石	總洋、スケール及厨金	鉄鐵製造高
三〇、八六六、二五〇	一、五〇七、五八四	二、五七一、六三三	一八、五八二、三二二

二〇四

二、米國の輸入と比島産物

金を除く米國の銅、滿俺、「クローム」及鐵礦の輸入状態と比島産物の關係を礦種的に述べれば左の如し。

(イ) 銅

米國內の銅生産高は、第一章に示せる通り、世界生産高の約三分の一を占むるものなるも、消費量もそれに伴ひ且又製品の輸出も夥しき量に達する爲年々銅塊及銅塊約五億封度を輸入し居る状態なり、それを年別に示せば(單位封度)

一九三四年	四二六、五七一、五六八
一九三五年	五一四、三六四、五二六
一九三六年	三八〇、六七七、七〇〇
一九三七年	五五九、七四九、一三三
一九三八年	五〇四、三二七、七七九

にして、一九三八年に就き其の詳細を示せば、銅礦一四、九五九、三八一封度中、智利國(六、二五八、八二一封度)、「メキシコ」(一、七三六、二九〇封度)及「ペルー」(一、六三三、一八五封度)がその大半を占むるものなるが、同年には特に「マルタ」島(ゴゾ及シブラス島を含む)よりの二、八五八、二四〇封度が第二位を占め居れり。銅精礦

及銅地金は加奈陀、玖瑪、智利、「ペルー」及「メキシコ」より計四二二、六〇〇、〇〇〇封度輸出せられ總輸入高の八六%を占めたるが、同年中の比島よりの輸入は二、六五四、八二二封度に過ぎざりき。

右の中注意すべき點は、米國が歐洲及東洋方面の供給源を喪失したとの假定の下に於ても政治的地位より見て、その勢力範圍より必要軍需資材を獲得し得る事にて、尙一九三八年度に於ける米國の銅塊及銅製品の輸出量は八四四、〇二七、四二六封度なる爲、戰時體制下に於て輸出を停止する場合此の輸入量と國內生産の銅により充分國內の消費に充當し得る事あり。

同年中の比島の銅生産高は銅精礦七、七七七、二五四封度、銅礦三、三二二、一〇〇封度(一七、七三三噸の銅礦に含まる、銅の平均含有率を八・五%と見て封度に換算す)計一、〇九九、三五四封度にして、米國生産高の一%に過ぎず、近年比島の銅生産高も増加する傾向を示したるも米國としては、比島の銅礦獲得に大なる期待を掛くるものとは思はれず。

本年に入り「レバント」銅山は熔鑄爐を設置し、品位約五〇%の銅鍍約五百噸宛二回米國へ輸出したるも、其他の銅山では従来より原礦の儘輸出し居りたる關係上、前記の如く原銅の對米輸出困難にして、従來の日本市場も輸出統制により之れを喪失したる時、此の儘の状態にては比島の銅生産も激減せざるを得ざる次第にして、既に比島第一の銅礦山たる「ヒックスパー」銅山も事業を停止したるものなり。

(ロ) 滿俺鐵

一九三八年の米國の同礦石輸入は三七年に比し四七%の減少を示せるが、之れは米國に於ける前年末の貯藏量の多量なりし事によるものにして、同年の輸入數量の減少と共に消費高も少なりし爲、同年末の手持鐵石は八四二、

二〇五

○四八噸と云ふ記録的數字を示せり。
一九三六年より三八年迄の米國の鑛石輸入の國別詳細を示せば左の如し。(單位英噸)

(註) 括弧内の滿備含有量ヲ示スモノニシテ各國ノ平均鑛石品位ヲ察知シ得ベシ。

國別	一九三六年	含有量	一九三七年	含有量	一九三八年	含有量
ブラジル	一一〇、〇一八	五二、二六五	七七、九八八	三五、五〇五	二九、六九八	二三、三〇七
加奈陀	二、四三五	一、一五九	一九六	一〇四	二	一
智利	三、八二八	一、八四八	三九八	一九一	—	—
玖瑪	三七、八七六	一七、四六一	一二二、九三七	五六、三八五	一三一、四二三	六一、五三五
佛蘭西	五九	二九	九五	四八	六八	三五
獨逸	一一三	五五	六四	三一	—	—
ゴールドコースト	二四一、五九三	一二五、八九三	二五四、五四七	一三〇、一四七	一二六、八五八	六三、八九〇
印度	一二六、九一三	六五、六九九	七〇、三八〇	三六、五二三	二五、四八〇	一三、一二一
關領印	五五二	二七九	一、一二六	六三一	—	—
南阿聯邦	九九	五〇	二〇九	一一九	—	—
露西亞	二八九、八六七	一四一、〇七〇	三八三、九四九	一八六、七三六	一六六、〇四三	八〇、六七三
比律賓	—	—	—	—	—	—
其他	九	四	三〇	一四	四、〇〇二	一、六〇〇
合計	八一三、三六二	四〇五、八一二	九一一、九一九	四四六、四三四	四八三、五八八	二三四、一六九

右の表にて知らるゝ通り、米國への滿備鑛供給は大露西亞、玖瑪及「ゴールド・コースト」に占められ、事態切迫し海上運送困難にして、南北米よりの輸入に限定せらるゝときは、平時の國內消費高の三分の一程度が獲得せらるゝに過ぎず、米國として此の種重要軍需資源の貯蔵に非常なる努力を拂ひつゝあるものなり。

一九三九年中頃より比島の滿備鑛は米國市價の騰貴に幸ひされ從來殆んど日本市場へ向けられしものが反轉し殆んど米國市場へ流入する處となり、今後も米國政府の鑛石獲得の線に沿ひ生産増加を見るものと思はる。

一九三五年以來の比島の滿備輸出量を年別、國別に記載すれば左の如し。(單位担)

年別	米國	日本	其他	合計
一九三五年	五〇八、一〇〇	一一、二一〇	—	五一九、三一〇
一九三六年	二五四、〇〇〇	九七二	—	二五四、七九二
一九三七年	四、七一四、七五七	七、四九一、三二一	—	一二、二〇六、二七八
一九三八年	三五三	四九、〇〇三、一九六	二〇〇	四九、三五九、一四九
一九三九年	一一、三四五、二一七	二、三、五一九、三一〇	一、一三三、五三〇	三五、九九八、〇五七
一九四〇年	五、一、三四三、〇〇〇	五、七七六、〇〇〇	九一九、〇〇〇	五八、〇三八、〇〇〇

本年五月の紐育港渡値段は四六%乃至四八%の滿備鑛一%に對し米貨六五「セント」なる爲、比島の米國向鑛石の平均品位を四八%と見て、同港渡値段は一噸三一弗二〇「セント」となり洋航運賃其他を十一弗と見ても、當地港渡値段は二〇弗二〇「セント」即ち比貨四〇比程度に輸出し得るものにして、一噸の採鑛費及選鑛費並に運送費に二〇比を要するものと見ても比島滿備鑛業は有利な立場に置かれ、今次の米國輸出統制令の比島適用に際して日本市場

を喪失するも米國としては國內消費量の約八%を生産する比島斯業を重要視し船舶を豊富に同航して輸出を振興し以て必需鑛石の獲得を計らんとするものと見らる。

(ハ)「クローム」鑛

「クローム」鑛は米國に於て重要鑛物資源中最も國內生産少なきものにして、莫大なる消費に對し全然輸入に俟つより外無く比島鑛産物中最も重要視せらるゝものなり。

左に一九三八年の國別輸入を示す。(單位英噸)

國 別	輸 入 數 量	酸化クローム含有量
亞 弗 利 加	一六八、二九九	八〇、一四〇
玖 瑪	三九、五二九	一二、七七三
希 臘	一一、〇〇〇	五、一二五
印 度	四、〇五一	一、八八三
ニュー・カレドニア	二八、五二〇	一五、二七〇
土 耳 古	二〇、三九二	九、六五〇
比 律 賓	七八、二三三	三八、二二一
其 他	一、〇六一	五〇八
計	三五二、〇八五	一六三、五七〇

右に就き特に注目すべき點は參戰を假定したる場合の鑛石供給源が甚だ貧弱なる事にして、前記表によれば、玖瑪一國に止まり輸入量の1%にも足らざるものなり。其他「ブラジル」及加奈陀にも生産せらるるが、兩者共年産高

は極めて少なく、加之玖瑪の鑛石は低品位にして米國へ輸入せらるゝ鑛石は耐火性能により使用せらるゝものゝみにして、米國としては早急の獲得蓄藏に最善の努力を拂ひつゝあるものなり。

米比間の關係を見るに、既に一九三八年に於て比島の輸出鑛石は米國にて相當重要な地位を占め、同年には約二三%を示すものなるが、近年特に米國よりの需要増加と市場値段の騰貴に惠まれ鑛山事業は非常に活潑となり一九三九年には一二六、七四八噸、一九四〇年には一九四、三九三噸の輸出あり、米國平時の消費量の半に達せんとする生産力を有する爲、米國としても獨占的立場に於て之れを獲得せんとし輸出統制を比島に適用し品位の如何に拘らず米國外への輸出を禁止したるものと斷言し得べし。

比島の輸出鑛石は明かに二分せられ、一九三九年には平均三四%の耐火用鑛石七三、五一四噸の輸出あり殆んど米國へ積出され其の他は四五%乃至五二%の高品位鑛石にして、一九四〇年には前者が七九、四九七噸残りが高品位鑛石にして、此の種冶金用鑛石が最も米國の欲するものにして一九三八年以來之等高品位鑛石の米國以外への輸出は一九三八年一二、八五七噸、一九三九年二四、九二三噸、一九四〇年には三九、〇五二噸あり、就中近年日本への輸出が旺盛となりし事が痛痒感する所となり、今次の輸出統制の適用となり、その流出を阻止するに至りしなり。

(ニ) 米國の鍍鑛生産高は一九三六年度に於て四九、五七一、八〇四噸、一九三七年七三、二五〇、六四九噸、一九三八年二八、九〇三、八六一噸にして、平均世界生産高の三〇%を占め國內消費に略々平衡し得る立場にあり。

且比島鑛石の輸入も運賃高の爲事實上不可能にして餘り問題とせられず、米國の輸出統制令の比島適用後も數量に制限を加ふるのみにて、海外への輸出を阻止したるものに非ず。

比島は世界生産高に對し一九四〇年度に於ても單に〇・三%の生産(輸出)を示せるのみなるが、之れは比島が原料

輸出の立場より全然海外市場の需要にその生産が左右せられ、比較的高品位の平均六〇%以上の鐵礦のみが輸出せられ、未開發の儘残され居る鐵山が數ヶ所あり、最近の需要増加に伴ひ、急速の發展を示すものと期待されたる處、輸出統制、船腹不足、資金凍結と、矢張り早の難關に直面し、日本市場の事實上の閉鎖と共に、比島鐵礦業は完全に停止の状態に入りたり。

右統制の實現を豫期し、比島鐵石の米國輸入の一方法として、曾つて、太平洋岸に製鐵所を建設し、比島鐵礦をして供給せしめんとする案も樹てられたるが、此れを實行に移す場合、米國港渡し四六〇「セント」程度にては、運費の負擔が莫大なものとなり、且又米比間船舶過航の不圓滑の折、到底その實現は不可能なるものとして、その案は蒙昧の中に葬り去られたり又既に輸出統制前より比島に於ける世界有數の政府の保有に係る「スリガオ」鐵山を利用する製鐵所の建設が立案せられしが燃料の問題に難關あり、即ち現在比島に生産せらるゝ石炭は、一九三九年の從來の生産記録にても五五、五八五噸に過ぎずして國內消費中「セメント」製造にも充當せられざる生産高にして、現在の如き、高價なる輸入石炭を以てする事も、不可能にして又「ミンドナオ」の水力を利用せんとする提案も屢々聽く所なるが、鐵石の運搬費等より、海外市場にその生産品を提供し得る生産原價に於て製鐵し得るや甚だ疑問とする所なり。

六六、米國の原料資材蓄積

本月十六日華府發U・P電に據れば他日米國が海外よりの輸入杜絶に備へる爲國防委員會が重要と認める資材の蓄積

問題に關し生産管理局は輸送力の不足が之れを脅しつゝある旨發表した。

國防問題發動の第一年に於ける原料資材の状態を観ると「マレイ」南阿亞佛利加及遠隔の諸國よりの錫、「クローム」護謨及「アンチモニー」の如き資材の輸送に對する貨物船の不足が最初の計畫に嗟歎を來す様になつたものであると述べ「ウイリアム・エス・クナドセン」及「シドニー・ヒルマル」兩氏を含む國防委員首腦部の現在迄の再軍備問題の進行は不満足なものであると云ふ聲明により個々の原料資材に對する解析が公表せられた。

米國の原料資材輸入の依存性を強調して生産管理局は平時に於ても米國は世界の護謨生産高の六割、錫、「ニッケル」「ヴァナヂウム」、及「クローム」各四割、滿俺三割六分、「アンチモニー」の三割を消費して居り其他十六種の原料が輸入せられて居るものと述べた。

輸入原料資材の不足は國防問題の要求に關聯して通常問題にされない資材も代用品として又は復活して開發せられ、より近い場所に新しく供給源を見出して國內生産を増加する事により輕減せらるゝものであり、管理局は此の點に就て危急の際充分な供給を得る爲凡有ゆる努力が國防委員により拂はれつゝあると述べた。

準備期第一年の終りに於ける重要國防資材の或る種のものに就て左の様に其の成果が發表せられた。

銅 相當量の註文が智利に爲されて最初の十萬噸の輸送が終らんとして居る。

錫 現在の蓄積量は一年以上の供給可能なものであり支那よりも來る筈で又「ボリヴィア」より五年間に一萬八千噸が輸送せられる。

タングステン ビルマルト閉鎖の爲輸入杜絶し蓄積量は少ない。國內生産に踏み出され又代用品が研究せられて居る。

護 輸入の好記録により蓄積は充分であるが之れは米國の綿と米國の護謨との交換が又貢獻するもので保存量及英國よりの取分によつて一年半は供給充分である。

亞 鉛 既設鑛山の擴張に對する優先管理により不足に對處する外西半球諸國からの輸入により國內供給を補足して居る。

ニッケル 現在の蓄積量は尠い。然し世界の供給源泉の大部分は加奈陀であるから國防の要求に對して不安はない。石英水晶 「ラジオ」の周波數調節に用ひられ蓄積量は數ヶ月間充分に供給し得るもので尙増加しつつあるものである。

クロム 蓄積量は工業に一年以上供給し得る程あり其の上註文も發せられて居り且つ國內生産には勇氣付けられるものがある。

黒 鉛 蓄積量は一年近く工業に支給し得る程度である。

滿 俺 十六ヶ月間供給し得るだけの蓄積量があり國內生産と共に加奈陀よりの輸入で一九四三年一杯迄供給し得る。

水 銀 六ヶ月間の供給力があるのみであるが國內生産は最高潮に達した。

雲 母 蓄積量は一ヶ年以上工業に支給し得る程あり又西半球の資源に就て調査中である。

六七、對蘭印比島貿易と鑛油輸入

世界通商路の革期的變更により比島の海外貿易も歐洲市場の喪失に代り米本土及東洋諸國との貿易が増加したが中にも蘭領東印度との通商關係が特に顯著となり通商局も各國別比島貿易の傾向を調査した結果同國との一九四〇年の貿易高は對蘭印比島貿易史開始以來の最高記録を示すものであつたと述べた。即ち同年の對蘭印貿易高は九、三〇〇、〇七〇比に達し從來の記録であつた一九三八年の六、八三二、九二五比及一九三九年の六、七九四、三〇一比に比し遙かに之等の數字を凌駕するものであつた。此の貿易擴張により比島の對蘭印貿易は比島の總貿易額に對し過去二年間の一・二%より一・六%を占むる様になつたのである。

對蘭印貿易の急激な擴張は歩調を合せた輸出輸入の増加によるものであるが二國間の貿易尻は依然として相當の開きを以つて先方の恵まれたものである。

一九四〇年の對蘭印比島輸入貿易高は八、一三二、五三八比で一九三九年の五、九三一、五八三比に比し約三七%の増加であるが輸出高も一九三九年の八六二、七一八比及從來の記録であつた一九三八年の九九〇、六七〇比に比し遙かに之等を凌駕する一、一六七、五三二比に達した。

比島輸出品の主なるものは植物性バターが三〇四、六二九比で首位を占めそれに次ぐものが索條の二六五、九二九、椰子油四八、四五八比、麻三四、一五〇比、植物性ラード三三、八二一比、煙草製品三、六二九比、籐製家具一、六〇〇比等である。

蘭印より輸入の激増は主として鑛油の輸入増加によるもので左に示す通り實に五、七八五、〇八六比に達し全輸入高の八一%を占め一九三九年に比し四七%の増加を示すものに據るのである。此れに次ぐものが「コーヒー」で六七〇、九八六比で其の他は澱粉、葉煙草、「キニナ」並に類似の製品及パン粉である。

一九四〇年比島の鑛油輸入高

品名	蘭印(比)	米國(比)	其ノ他(比)	合計(比)
重油(ディーゼル油)	四、二三九、七七一	三、八四三、一七二	三、二二三、〇九四	八、四〇六、〇三七
ガソリン及發動油	六三三、五九二	七、一八九、四二八	六六二、二五二	八、四八五、二七二
パンカフエール	一四六、七五二	一、一五八	一四七、九一〇	一四七、九一〇
揮發油及輕油	—	三、四一八	—	四、八三八
燈用石油	二二一、五三七	三、一七三、一九〇	一八六、一四四	三、五七〇、八七一
整滑油	一六三、七八五	二、四六〇、八五七	四、六七三	二、六二九、三一五
コールドターブル	—	一、六八三	三五一	二、〇三四
クレスソート及死油	—	二、九五九	三二、六四六	三五、六〇五
グリノース	九、四〇五	四二、四四八	五六	四二、九〇九
石油アスファルト未製品	—	五五六、二九〇	一、〇三四	五五七、三二四
同製品	—	一六、九一〇	—	一六、九一〇
ワセリン	二、五一四	一四四、二六九	二八	一四六、八一
レシウム等光輝ヲ發スルモノ	六、〇三九	二二、五二五	一〇六	二八、六七〇
鐵物性及パラフィン性ワックス	三七一、六九一	七五、八七七	二一、五二三	四六九、〇九一
合計	五、七八五、〇八六	一七、九〇四、一八四	一、二三三、三二七	二四、九二二、五九七
一九三九年	—	—	—	—
重油(ディーゼル油)	二、五六二、九七八	二、七二〇、〇三四	—	五、二八三、〇二二

ガソリン及發動油	四〇六、九八七	五、七三四、〇七四	—	六、一四一、〇六一
パンカフエール	—	—	—	—
揮發油及輕油	—	六、四四七	—	六、四四七
燈用石油	一二四、四六九	二、二五七、三四三	—	二、三八一、八一四
整滑油	一四一、八一七	一、五八一、五四七	—	一、七五二、九四〇
コールドターブル	—	一九七	—	五、七一八
クレスソート及死油	—	二、一六八	—	五、五九七
グリノース	七、二八三	二一八、八五〇	—	二、〇八六
石油アスファルト未製品	—	三一〇、五八八	—	二二八、二一九
石油アスファルト製品	—	—	—	三一一、〇三四
ワセリン	—	—	—	—
レシウム等光輝ヲ發スルモノ	二九二	一一五、三一六	—	一一五、三二六
鐵物性及パラフィン性ワックス	六七七、二二四	三二、九五六	—	三三、五〇二
合計	三、九二一、〇五〇	一三、〇五五、八三二	九〇、六五四	一七、〇六七、五三六

右の表により知られる通り一九四〇年には蘭印よりの重油の輸入は遂に米國よりの輸入高を超過したもので將來も地理的に恵まれた同國よりの輸入は増加し事實上米國の地位に代らんとして居るものである。然し從來も重油は數量に於て遙かに米國を凌駕して居たものであるが價格の點が米國より劣つて居たのみである。左に一九三七年以來の米、蘭印の輸入數量と價格を示す。

(一九三八年)

米 國	一三三、二二七、四九五立
關 印	一九〇、六〇二、一四〇同
其ノ他	一、七四九同
(一九四〇年)	
米 國	一八八、五三三、九三一庇
關 印	二六〇、九五四、〇二二同
其ノ他	—

二一六

(一九三七年)

米 國	二、八三九、〇七八比
關 印	二、五三二、〇四〇同
其ノ他	一一九同
(一九三九年)	
米 國	三、八四三、一七二比
關 印	四、二三九、七七一同
其ノ他	—

六八、比島鑛産物に對する「グラデー」代表の報告

本月十七日當地英字紙「ブリテイン」の報する處に據れば昨日(十六日)駐比米國高等辨務官は「ワシントン」より「グラデー」經濟使節の比島産「クロム」、滿俺及銅の輸出振興及鐵鑛業に對する救濟方法に關する勸告が概括的に承認せられたる旨の報告を受けたる趣なり。

右に關し聯邦借款委員會は概要左の通公表せり。

- 一、「グラデー」經濟使節の勸告に基き聯邦借款委員會は比島産「クロム」及滿俺鑛、銅並に粗銅及麻を含む米國國防上の必需品の買付け問題を一九四一年十一月一日を期して實行に移す準備あり。
- 二、委員會は若し船腹獲得困難にして、米國の個人購買者が一ケ年間前記比島産鑛物の買付能はざる時は、右滞貨に對

し比島港渡し値段の六割五分の割合にて融資を爲す準備あり。但し其の量は「クロム」鑛三十五萬英噸、滿俺鑛四萬英噸、銅(銅鉞及粗銅)六千英噸とす。

三、前記鑛産物の各品位に對して支拂はるべき値段は目下研究中なるが、明細書作製の曉之れを公表す、然し聯邦借款委員會は出來得れば、之等鑛物販賣者が繼續的に直接米國へ積出す事を希望するものにして、斯くの如く積出さるゝ額は、借款委員會の最大責任を軽減するものなればなり。

四、聯邦借款委員會は鐵鑛石買付に對する計畫なし。然し將來必要に應じ右滞貨に對し借款を爲す準備あり。委員會は更に「コブラ」及椰子油の米國向積出の促進に付關係當局と協議中なり。

五、右計畫の實施監督の爲駐比高等辨務官の經濟顧問「ヘスター」氏を聯邦借款委員會の代表に任命し、鑛産物の貯蔵及分析に關する技術的監督は鑛山調査技師たる「チャールス・エー・ミック」氏が擔當の筈。

右に關聯する鑛石貯蔵の場所、鑛石の品位及融資並に契約に對する申請手續の詳細は後報せらるゝ趣なり。

目下印度に滞在中の「グラデー」氏は當地出發に際し使命の結果は満足すべきものなりし旨を述べ、同氏の重要勸告の承認と共に發表せらるべき聲明書を委託せるが、其の内容は次の如し。

「余は右計畫は米國々防上必要なる三つの重要軍需資材たる「クロム」、滿俺及銅の採鑛を著しく増大し、之等鑛石特に低品位鑛の樞軸側への積出に對する輸出統制の悪影響を緩和するものなる事を確信す。鐵鑛業の救済に就ては一年間事業縮少を基として、鑛山會社の經營を支持する事を提案するが妥當なりと思考す。而して問題の最後の決定は其の實行當時の状態により再検討せらるべきなり」

要するに前掲計畫に依れば聯邦借款委員會は若し船腹獲得可能なる場合は米國に於て、且又獲得困難なる時は比島に於

て必要原料を買付け、之れを不取貯蔵せんとするものにして前者の場合には後報せらるべき指定値段により全額を、後者に於ては比島港渡値段の六割五分を支拂はんとするものなり。

尙右に關し「マシシロック」に於て「クローム」鑛山を經營する「ベンゲット」合同金山の副社長は「要するに問題は後報せらるべき品位指定及値段に係るものなるも若し現在の状態が繼續すれば、此の問題も現在生産しつつある鑛石に對する確實なる市場と輸送船舶を獲得し得る立場にある會社としては經營上大なる影響を受くるものとは思はれず、且又米國政府は Metal Reserve Corporation より此の鑛石を買付けつゝあり、會社を通じて米國の註文を増加し得るを以て、聯邦借款委員會による本鑛山の鑛石の直接買付けはあり得ず」と述べたる趣なり。

因に「マシシロック」鑛石及「アコ」鑛石(冶金用品位)は配船も圓滑にして最近輸出著しく増大せり。

六九、「ニールソン」會社の銅製鍊所建設計畫

「ニールソン」會社社長「エル・アール・ニールソン」氏は昨日(二十三日)三年間の比島及極東の銅鑛山事業調査の結果愈々同社は顧客本位の銅製鍊所建設に着手する事と決定したる旨發表せり。此の製鍊所建設に當りその敷地として五箇處が選ばれしが右は海外貿易船への積込容易なる事、道路の便宜、鑛山地方に所在する事及建設地に於て必要資材が得られ且つ一年間を通じ稼行及積込に支障を來さざる點を條件とするものにて、その選擇地の最後の決定は今週中になさるゝ趣なり。

製鍊所建設を見越し製鍊機械は相當量既に米國に於て購買せられ「マニラ」へも幾分送付せられたが、米國に於ける此の種製鍊機械の製作上の優先權獲得及發送は相當困難を伴ふ状態にあるにも拘らず早期に入手し得るのは早期見積發註をなしたと云ふ。

製鍊機は最新式のものにて、九八%より九九%の金屬を含む粗銅 (Blister Copper) を生産するものにて、現在の計畫にては後日純粹なる銅或は電氣銅を生産し得る電解工場を建設せんとするものなるが然し當分は可及的速に作業を開始する爲に粗銅のみを生産せんとするものにて之れを米國へ輸送し其の後の處理を施さんとするものなり。

「ニールソン」會社は既に此の種製鍊所の可能性を詳細調査済にして同社の勸告に基き「レバント」銅山にては、既に最近式の製鍊所を建設し銅鍍(五〇%含銅)を生産し現在の如き經濟状態に於ても順調に事業を繼續し居り、此の銅山の製鍊所が各個の含銅金山の「プラント」(工場)より遙か好成績を挙げつゝある事實より見て「ニールソン」會社は依頼鑛石を處理する製鍊所を建設し、その製鍊所の機能より來る利益を公にし、他鑛山と共に享受せんとするものなりと述べ居れり。

會社にては取扱ひ得る鑛石及精鍊に就き廣汎なる鑛山及地質の調査を同社技師をして爲さしめたるが、此の報告に據れば多くの小鑛山に重要なる銅資源存在し又可能性ある事判明し之等大部分は大生産會社に非ずして一ヶ月五十噸乃至百噸の鑛石或は精鍊を製鍊所へ運搬し得、品位も分析結果によれば十%程度の商業價值を有する鑛石を生産し得る事判りたる爲製鍊所建設の上は大資本を投ずる事なくして鑛山事業に参加し得る機會を與ふる事となるものなり。

最近比島の銅鑛業はその重要性を寧ろ減退しつつある傾向を有するものなるが、比島の多數の小銅山の存在より見てそれ等の爲公開せらるる製鍊所が建設されれば比島の銅鑛業も重要なる産業の一つと認めらるゝに至るべしと豫期せらる。

「ニールソン」會社は特に比島銅鑛業に經營主力を注ぎつつある會社にして、比島主要二大銅山（レバント及ヒックスバ）各銅山）を經營し、その生産高は總生産高の九〇%以上を占め居るものなり。現在銅を専門とする製鍊所（顧客本位のもの）は極東に於ては日本にあるのみにして、輸出統制前は全生産に伴ふ副産物たる銅精鑛を除きては銅鑛及銅精鑛は全て日本へ輸出せられ居たるものなるが、輸出統制により米國の製鍊所以外への積出不可能となり、且又高運賃の爲銅鑛は勿論精鑛と謂へ共相當含有率高きものならざる限り、唯一の市場たる米國へも採算上積出不可能なる状態となりたり。

現下の如き世界情勢下に於て、又船腹不足の折、此の種製鍊所の建設は比島經濟に貢獻する處尠からざるものありと期待せられ且つ單に銅鑛業を振興するのみならず、他方比島に生産輸出せられつゝある銅精鑛をして、現在以上に處理しその嵩を減じ以つて船貨を節減する事により、他鑛山と共に福利を享受せんとするものなり。

七〇、比島鑛業の經濟的地位

一、比島鑛業の沿革

比島各種産業中最も發達の遅れたるは鑛業にして、その原因とする所は（イ）比島固有資本の缺如、（ロ）地質的に年代新しく且つ島嶼點在し居る爲廣大なる鑛床の造成に適せざる點、（ハ）重工業の發達せざる比島に於ては金鑛を除く全部を粗鑛の儘輸出し居る關係上、外國市場に左右せらるる點之れなり。而して最近數ヶ年間に於ける比島鑛業の發達目醒しく、世界注視の的となりつつあるも、比島鑛業眞の隆盛は今後の對策如何に據るものにして、殊に比島卑金屬鑛

業は前記の原因に支配せらるる事大にして、その開發極めて新しく、山嶽州に於ける銅採取を除き比島貿易史上に卑金屬輸出現はれしは、第一次世界大戰當時僅少の鐵鑛及滿鐵鑛あるのみにして、事實上比島の卑金屬鑛業は一九三四年に始まりたるものと見るべきなり。然し砂金採取は三世紀頃既に行はれたる形跡あり降つて西班牙の比島領有數世紀前支那商人との取引に當り、土着人の採取せる砂金が之れに充てられたりと傳へらる。

然るに比島を領有せる西班牙政府は其の植民政策の重點を商業地點の獲得に置き、資源の開發は等閑に附され、宗教による土着人懷柔策を採り、富源開發による土着人の福利増進に關して、何等考慮を拂はざりし爲、豊富に埋藏される各種鑛産物開發は比島が米國の統治下に入る迄何等工業的發展を示さざりしなり。

米國領となるに及び比島金鑛業は長足の進歩を見せ、一九三〇年以來比島物産價格下落に引替へ一九三三年米國に於ける金相場の高騰は比島金鑛業に拍車を掛け「ベンゲット」及「パラトック」兩金山を始め、其の他多數の金山相繼いで開採し、現在の基礎を築き急速に製糖企業に肉迫するに至れり。

即ち製糖業及鑛業の關係に付見れば第一次世界大戰終局頃より一九二二年に至る期間製糖業は相當の利潤を擧げ其の大部分は同産業資本に投下、製糖工場の建設及栽培地の獲得等に流用せられ比島製糖業の最も目醒しき擴張行はれたり其の結果、一九二二年より一九三三年に至る不況時代に於ても各製糖會社の大部分は糖業より得たる利益金の全部を負債及擔保償却に充當し得たるが、一九三三年に入り米國農業調節局は砂糖及椰子生産品に對し、米國內の産業を擁護し、且つ大量流入を阻止せんが爲、米國市場に吸収し得る量に輸入を制限せんとする割當制度實施され砂糖の値段は不況前の高値に復するに至れり。斯くて比島製糖業者は同年負債より完全に開放せらるると共に、確實なる市場を獲得し、有らゆる角度より最も惠まれたる立場に置かるるに至り、加之比島の製糖業者は一九三五年—三六年の會計

年度に於て右割當制度實施に依り比島側損失に對する代償として米國より一千六百萬弗近くの金額を受取れり。斯くの如き好條件の下に於て比島製糖業者は巨額の利益を擧げ得たるも當時に於ては、其の他産業に對し之等多額に上る遊資の使途發見し得ざりし結果、一九三五年十一月現在「マニラ」銀行の手持現金高は一千五百五十萬弗に上り、その翌年には一千六百五十萬弗に達し、又一九三六年中に於ける各種貯金高は七千五百五十萬弗より九千七百五十萬弗、更に同年度の投資額は四千八百五十萬弗より五千八百五十萬弗に各々増加せり。

右の如き銀行の手持金の激増の結果、銀行業者は一九三六年の中頃當座預金に對する利子支拂を停止し四萬五千比までの定期預金に限り二分五厘、それ以上の額に對しては無利子とすることとせり。

然るに當時既に發展の途上にありたる比島鑛業の前途有望視さるるに及び、斯業に對する投資又漸次増加するに至りたる外、從來比島内に於て商業に従事し居りたる華僑及西班牙人は本國の政情不安狀態に鑑み、送金を躊躇、之れを鑛業に投資するに至りたる結果、比島鑛業は急激に膨脹し、今日の隆盛の因を爲すに至れり然し糖業よりの投資が鑛業發達に貢獻せる反面投機氣分を誘導せることも看過し得ざる處にして、此の結果、一九三七年に至り鑛山投資に對する反動現はれ銀行は鑛業への融資を躊躇すると共に資金回收を開始するに至れるため、不健實なる鑛山會社は相次いで倒壊し、其の後更に新鑛業法實施せらるるや比島鑛業は漸次健實に發達し比島經濟上重要地位を占むるに至れり。

二、比島輸出貿易と鑛產物輸出

比島稅關局作成に係る統計によれば、比島が米國統治下に入りたる當時比島よりは既に金、銀塊輸出され居りしも、その輸出高は極めて少額にして一九〇〇年より一九〇九年に至る迄の年平均輸出高は僅かに一一七、二七二比に過ぎず、其の後自一九一〇年至一九三九年十ヶ年間の輸出高は年平均一、八一〇、四三七比となり、相當の増加を示せる

が現在に比し尙相當大なる相違あり。一九二〇年以後十ヶ年間に於ては比較的順調に推移し其の輸出高も平均三、〇〇〇、七五二比となり、比島輸出貿易品目中漸次其の存在性を明かにするに至れり。此の期間中特記すべきは一九二六年以降「ベンゲット」及「パラトック」金山の好成績に刺戟され金山に對する企業熱著しく増大、一九二九年度の輸出高が一躍二倍以上に上りたる事なり。而して一九三〇年以後の發達は特に著しく一九四〇年度には十年前の約十倍の輸出高を示すに至れり。就中一九三八年以降一九四〇年に至る三ヶ年間の輸出は各六一、〇一三、五八八比（一九三八年）七三、六五三、三三九比（一九三九年）及七七、七五三、四九六比（一九四〇年）と逐次増加し、比島輸出貿易品目中砂糖に次ぐ重要輸出品となれり。然し比島の卑金屬鑛產物の輸出に就て之れを見るに日支事變及歐洲清勢の緊迫に伴ひ軍需資材としての鐵、銅、「クロム」及滿俺鑛の比島生産著しく活潑となり世界市場特に日、米兩國よりの需要増加に伴ひ輸出亦激増せる處米國政府に於ては國防資材確保のため一九四一年五月輸出統制令を比島に適用樞軸國側に對する鑛物資材の輸出を制限或は禁止したる爲、比島卑金屬鑛業の前途に一抔の不安を投ずるに至れり。

第一項「比島鑛業の沿革」に於て述べたる如く、比島に於ける卑金屬輸出は極めて新しく事實上一九三四年以後に始まり、又最近の如く世界の視聽を集め比島輸出品目中に確固たる地歩を占むるに至りしは一九三八年以降に屬す。左に一九三五年以後の各種卑金屬鑛產物の輸出高を示す。（單位比）

鑛種	年別	一九三五年	一九三六年	一九三七年
銅	鑛	一九三、九二九	二、八六八、四二七	二、六五二、〇七八
銅	選	一、一四三、九二九	二、八六八、四二七	二、六五二、〇七八
鐵	鑛	一、一四三、九二九	二、八六八、四二七	二、六五二、〇七八
鐵	選	一、一四三、九二九	二、八六八、四二七	二、六五二、〇七八
銅	鑛	一、二六、一六七	一、七〇四	六五六、四五二
銅	選	一、二六、一六七	一、七〇四	六五六、四五二
鐵	鑛	一、二六、一六七	一、七〇四	六五六、四五二
鐵	選	一、二六、一六七	一、七〇四	六五六、四五二

年別	一九三八年	一九三九年	一九四〇年
クロム	二七、五五八	三〇七、五一八	一、五四二、一〇〇
錳	一三、二一三	六、〇二〇	三三七、七一六
合計	一、三一〇、八六七	三、一八三、六六九	五、一八八、三四五
總輸出高ニ對スル割合	〇・八%	一・三%	一・九%

年別	一九三八年	一九三九年	一九四〇年
銅	一、二八三、三〇一	一九三、九一八	三〇三、八五七
銅選	—	二、一五三、〇八〇	二、四九三、一九六
鐵	四、〇八〇、六四五	五、〇九七、八四八	五、五二九、四八〇
クロム	一、五七六、八四五	二、一五三、六四〇	三、八八四、一二一
錳	九九九、一八五	七六六、八九九	一、四九九、八〇九
合計	七、九三九、九七六	一、一〇二、二七八	一三、七一〇、四六三
總輸出高ニ對スル割合	三%	四・三%	五・三%

右の如く近年比島鑛産物の輸出激増を見るに至りたるは現在の世界的軍需資材の需要増加によるところ大なるものあり。金塊の場合に於ては近年の世界情勢の不安定に對する消極的推移とも觀察し得べし。即ち過去數年間比島生産物價格の下落及輸出市場の制限等により、農産物の將來性極めて少なく、且つ世界情勢の見透し困難なる最近の状態に於ては價値の比較的動搖性甚き産金事業に關心の傾く事當然なり。鑛物輸出高は現在比島輸出品目中首位を占むる砂糖輸出高との差額を漸次縮少し、各々比島總輸出の約三割を占め居るも、鑛物輸出は船腹不足に著しく支配せらるる砂糖の輸出高を早晚凌駕するものと見られ、比島輸出貿易上のみならず、比島經濟上に占むる鑛産物の重要性を愈々

高めつつあり。

三、鑛山經營と社會經濟關係

比島鑛業の隆興は直接、間接に比島經濟に少なからざる影響を與へ居れり。即ち鑛業の比島政府に對する納税に付見れば、比島鑛業は一九四〇年度に於て約七、四四七、六一五比の税金を納附せり。その内譯は生産税三、五三九、五〇七比、所得税二、〇三二、九八一比、鑛區税一九七、〇九七比、森林税二一六、七四六比、其他一、四六一、二二一比にして、此の額は比島稅務局の一重要財源として同年度國內總徵收稅九三、〇六五、六九五比の八%強を占め居れり。

以上は直接税なるも、此の外鑛山事業より比島政府の受くる間接收入即ち配當及鑛山株賣買による利益に對する所得稅、鑛山業に附隨する副業に對する納稅等も亦輕視し得ざる額に上り居れり。

以上の外比島鑛業會社は一九四〇年度に於て、三六、六六〇、六四七比の機械器具及油類を購入し居るが、之れに要せる運搬業務稅、賣上稅及輸入稅等は直接、間接商社より支拂はるものなるを以つて鑛山業者の直接稅とは言ひ得ざるも間接に經濟社會に寄與する所亦大なるべし。

左表は一九三五年以來の機械器具類及供給品の購買高、木材使用高並に電力使用量を示す。

年別	木材使用量	同	價額	%	機械器具及供給品等購買高	%	電力使用量
一九三五年	二四、八一二、二四〇	一、二四〇、六一二	三・七	一〇、四四一、六四〇	三一	不明	
一九三六年	七七、一八五、五〇〇	三、八五九、二七五	八・一	二一、一二四、一九九	四四		一一〇、八六〇、三〇〇

一九三七年	七四、三二〇、〇〇〇	三、七一六、〇〇〇	六・六	二二、三六三、二三〇	四一	一三〇、三〇〇、五〇〇
一九三八年	八〇、九六八、〇六三	四、〇一七、三八七	五・六	二七、六五一、五八五	三八	一五八、六九〇、二四四
一九三九年	八二、八〇七、六九一	四、七五三、一四九	五・六	三四、一〇七、三二八	四〇	一九八、六七六、七六一
一九四〇年	八四、二六七、六〇二	四、八六六、一六二	五・三	三六、六六〇、六四七	三九・八	二二八、七四六、四六二

次に、鑛山労働者關係に付見れば一九四〇年度に於ける鑛山使用労働者数は四二、九三一名、事務員及社員一、三四五名、右計四四、二七六名に上り、その支拂賃銀及給料總額一七、一六三、四一六比に達せり。之れを一九四〇年度生産高九二、三一七、四一〇比に付見れば、生産高各一比に付き二十九仙強の人員費を支拂ひたることとなり。此の外鑛業に附隨する事業例へば木材販賣業、鑛山用具及各種供給品の製造、販賣並に運搬業に従事するものも亦鑛山業の恩恵に依り其の生計を樹て居る點を考慮せば鑛業の經濟社會に及ぼす影響蓋し大なるものあるべし。

右表は自一九三五年至一九四〇年に於ける比島鑛産高、直接税納付高、賃銀支拂高及其の他を示す。(單位比)

年別	生産高	直接税	給料及労働賃銀	木材ヲ含む必需品購買高	配當
一九三五年	三二、〇〇三、四八七	一、四三三、八四六	七、三八七、〇三六	一一、六八二、二五二	九、三四六、八三〇
一九三六年	四六、八〇九、六二五	二、二〇三、七二三	一五、〇九〇、〇一四	二四、九八三、四七四	一四、三七八、九九七
一九三七年	五六、三〇九、〇九六	三、七四九、五八五	一七、八四一、三三一	二七、〇七九、二三〇	一三、〇七〇、〇七八
一九三八年	七一、九九三、四九一	五、三八八、八四八	二一、三九三、七三六	三一、六六八、九七二	一八、一二二、八〇八
一九三九年	八四、九一三、〇七一	七、二八四、七〇七	二四、一七三、三〇四	三八、六八〇、四七七	二一、〇八一、八六八
一九四〇年	九二、三一七、四一〇	七、四四七、六一五	二七、一六三、四一六	四一、五二六、八〇九	一八、五四七、九八八

右六ヶ年に於ける各生産高に對する平均比率を示せば次の如し。

直接税	六・六五%
給料及労働賃銀	二八・九五%
木材及物品購買費	四五・一〇%

四、獨立問題と鑛業關係

第二次歐洲大戰に依る歐洲市場の喪失は比島輸出貿易をして、益々米國依存に傾けつつあるも、比島の對米輸出品は「タ・マ」獨立法修正法の規定に依り本年度(一九四一年)より漸増的輸出税賦課及漸減輸出量割當制度實施され、一九四六年七月比島の完全獨立を期し、米比互惠通商關係は消滅することとなり居れり。而して獨立二年前米比共同經濟調査委員會設置され、獨立後の比島經濟並に米比通商問題が検討さるる様規定され居るも、現在の世界情勢下に於ては將來の見透し極めて困難なる爲、以下「タ・マ」獨立法の規定に基き比島が一九四六年七月完全獨立するものとの豫想の下に比島鑛業の將來につき検討を加ふべし。

第二項「比島貿易と鑛業」に於て述べたる如く、比島鑛産物輸出は比島輸出品目中首位を占め居る砂糖に迫り早晚之れを凌駕するものと見られ居る處、本年度より實施せられたる對米輸出品に對する漸増的輸出税賦課及漸減割當制、船腹不足等は更に此の傾向を増加し居れり。即ち世界情勢の不安は米國をして軍需資材獲得に狂奔せしめたる結果、太平洋上に於ける船腹不足を來し、比島主要物産たる砂糖及椰子製品等の輸出を阻止し砂糖の如きは對米割當數量の輸出をも困難ならしめて居る現狀に拘らず、軍需資材として缺く可からざる比島鑛産物は米國の軍需資材優先運搬措置に基づき船腹不足にも拘らず比較的順調に輸送行はれ、比島貿易に寄與する處大なるものありと期待せられたり。然るに本年五月實施せられたる輸出統制に次ぎ米國側の對日資金凍結は日本よりの回船不足と相俟つて比島卑金屬鑛

業中米國市場に販路を求め得る満俺及「クローム」鐵を除き鐵及銅鐵輸出は致命的打撃を蒙むるに至れり。如斯情勢下に於て將來の比島貿易觀察するは極めて困難にして現下の世界情勢にして何等か打開せられざる限り比島は一九四六年七月の完全獨立迄に經濟的調整を計る事極めて困難なる立場に置かれ居るものなり。即ち比島は一九四六年七月の獨立期までの短期間に於て早急に工業化するとも期待されず、又米國の資金凍結令は外國よりの投資を阻み居るため鐵山事業に就て云ふも急激なる改革は期待され得ず、將又國立興發會社の鐵產物資源開發にも多くを望み得ず、更に製鐵所建設の如きも燃料缺如に起因其の實現性極めて薄弱なり。斯くの如く觀察する時比島鐵業は國際情勢に極端なる變化なき限り現狀維持を以て進まんものと觀察せらる。

「タ・マ」獨立法に依り、一九四六年七月に比島が完全獨立するものとして、其の後の比島貿易を豫測するに過去及現在の比島貿易狀態及生産原價より觀て米國との互惠通商條約消滅後比島がその物産を各國と同率關稅を支拂ひ米國に輸出し得るやは甚だ疑問とする處にして、勢ひ比島は東亞に市場を求むることとなるものと思惟さるるも從來の如き農產物を以てしては東亞市場に於て相當苦しき立場に置かるるものと想像さる。而して獨立國家としての鐵出は現在の二倍乃至三倍の多額を必要とする關係上比島財政の安定を期せんが爲には果敢なる政策要求さるるものと思考さる。由來比島輸出品たる農產物は他の南洋植民地に比し生産原價割高にして特殊關係を有する米國市場以外にては或る特殊產物即ち麻、木材等を除き東亞市場への販路獲得困難なり。斯くの如き狀態の下に農業國家としての經濟的基礎を確立せんには現狀を打破するが如き大改革を必要とす、即ち大企業による生産原價の切下げ或ひは平價切下げに依り輸出の振興等之れなり。

斯る際鐵物資源の存在は一國の財政並に貿易に寄與する處如何に大なるものあるかは贅言を要せざる處にして、將來輸出の振興等之れなり。

共鐵產物の需要増加明かなる時地質的に恵まれる國家に於てのみ生産し得る所謂天然資源の供給國となる事は比島の貿易經濟に大なる貢獻を爲すのみならず、他日比島の國家工業化の一要素を提供するものとしてその重要性は何物をも凌駕するものなり。假令卑金屬の生産小にして、その輸出が一國の貿易に寄與する處少なしとするも、貿易の振興を圖るため平價切下げを斷行する場合世界總產金高の二・五%以上を有する比島產金は國際間に於ける比島の經濟的立場を確固たらしめるものなり。

五、輸出統制の比島貿易及鐵業に及ぼす影響

第二次歐洲大戰勃發により比島貿易が米國及東亞市場への依存性著しく増大せる事は、輸出貿易の項に於て述べたるも、東亞市場への進出は獨立を目前に控へたる比島として最も重要視せらるべきものなり。然るに、過般の米國輸出統制の比島適用は比島の貿易並に經濟に及ぼす影響尠からざるべし。之れを外國貿易及國內關係に分けて検討すれば一九四〇年度に於ける比島對外輸出總額は三一、八四九、〇四七比なる所、其の中八二・二%即ち二五八、三五三、九一六比は對米輸出額なり。而して一九四〇年度輸出總額中輸出統制品目中に含まるる比島輸出品は八二、九七一、四七六比に上り居る處その中三四、五六八、八九四比即ち輸出總額の十一%強は米國以外に輸出され居れり。若し之等物産にして米國以外への輸出を完全に阻止せらるるものとせば、比島輸出貿易に及ぼす影響甚大なるものあるべし。又米國がその言明する處に従ひ比島の貿易經濟に破綻を起さしめざる爲米國に於て之等生産品を必要資材となし全部購入し得るものとするれば比島の對米輸出は一九四〇年の例に於て實に九三%に達するものなるが之れが實現の不可能なる事は輸出統制實施以來三ヶ月の實績より見て既に明かとなれり。即ち各國籍船舶の比島航路中止及米比國籍船舶不足は比島輸出貿易を極めて不活潑にし米國は「クローム」、滿俺鐵及麻の如き軍需生産品輸送に對し、最大限の船腹

を供給し得るとしても、比島主要輸出品にして軍需資材ならざる砂糖等の船腹獲得は愈々困難となり、結局比島の對米輸出は減少することとなり米國が言明せる如く輸出統制下にある比島生産品を輸入しその約を果すものとして、船腹不足は對米輸出品目の地位に變更を來すに過ぎず、砂糖等の非軍需資材輸出は明かに減少すべし。又假令米比通商關係にして何等か打開の途あり順調に推移するものとしても、之れ以上比島物産の米國市場依存は獨立國家將來の貿易經濟を極めて薄弱化するものなり。輸出統制と鑛産物輸出關係を見るに一九四〇年度に於ける米國以外への鑛産物輸出は八、三二一、三〇〇比(大部分對日輸出なるも屑鐵類三一七、三〇〇比は之れに含まれず)にして同年度總輸出高の二・六%強に當り滿鐵鑛(三五%以下)及鐵鑛の如く輸出許可により輸出し得るものに於ても手續の煩瑣及本邦船舶の比島航路中止等により圓滑を缺き、且又米國市場へも其の捌口を求め得ず、直に比島貿易の減少を來す外無き現状なり。而して比島が單に米國屬領に甘んじ獨立の宿望なき場合に於ては對米輸出依存は何等苦痛とならざるも、飽迄獨立を企圖し、その獨立を目前に控へ、更に獨立後米國との通商互惠條約廢棄を豫期し米國に代る新市場獲得に其の經濟的生命を託さんとする際、米國により比島主要輸出品中の或る品目が統制せらるる事は將來の貿易市場開拓に一頓挫を來す外比島の經濟的立場が益々米國の意志に左右せらるる事となるべし。

比島輸出貿易と東亞市場との關係につき見るに一九三〇年より一九三九年に至る迄の平均輸出高は總輸出高の六・四七%、獨立準備政府樹立の年一九三六年より三九年迄は七・六七%強)なりしものが一九四〇年には九・七%に増加、第二次歐洲大戰に起因する歐洲市場喪失の際右増加は比島貿易に力強き印象を與へたるも間もなく輸出統制實施により進出の前途阻止せらるるに至れり。而も東亞市場中其の首位を占むるは日本にして、一九四〇年には比島總輸出高の五・六%を占め、而もその中約半即ち二・六%は卑金屬鑛物なりしたため此の數字は本年度より明年度にかけ輸出減

少となり示現さるるものなり。

國內問題より輸出統制の影響につき見るに生産開始以來日尙淺く資金回收の域に達し居らざる比島卑金屬鑛生産會社中鐵鑛山及銅山は輸出統制及資産凍結等に依り、事業停止の已むなきに至り、更に之れに附隨する事業閉鎖は従業者及其の家族數萬人の糧道を絶つこととなり、商業不振且つ比島主要農産物の輸出困難に起因し生産を手控へ居る際、新に之等多數人員を失業せしめる事は、重大なる社會問題を誘致すること必然なり。

七一、昭和十六年八月の比島産金高に就て

本年八月中に於ける比島産金事業は比較的順調に進み七月に比し約九十七萬比、昨年同月より約二十五萬比の増産を示せり。即ち生産高を報告せる三十五金山の總生産高は七、九〇三、三一六比にして本年七月は三十七金山により七、八〇六、四九一比、昨年八月は三十六金山にて六、六五二、七二〇比の生産を見たのみなり。

本年八月の産金増加の主因は「ミンダナオ・マザー・ロード」鑛山及び「ビッグ・ウェンチ」鑛山會社の最近の新鑛體發見に伴ふ生産増加にして其の他「サンタ・ロッサ」、「ダヴァオ・ゴールド」、「バギオ・ゴールド」及「ゴールド・クリク」各鑛山の好成績にも負ふ所あり、然し三十五金山の大部分の生産は一般に低調にして「ベンゲット」合同金山の如きは鑛夫の罷業により約一週間施行を停止せる爲七月に比し生産高に相當なる打撃を受けたり。

同月中生産中止せるもの二つあり、その一つは「ベンゲット」合同金山により經營せらるる「イボ」金山にして、商業的價值ある鑛石殆んど掘盡されたる爲鑛山を閉鎖せるものにして他は「ノース・ミンダナオ」鑛山にして砂金採取に

必要なる水不足の爲繰行を一時停止するの已むなきに至りたるものなり。
左に本年八月及昨年同期の産金高及處理鑛石量を示す。

鑛山名	一九四一年八月		一九四〇年八月	
	産金高(比)	處理鑛石量(噸)	産金高(比)	處理鑛石量(噸)
アルデコア	三、二〇八	一九九	—	—
アンタモタ	二七六、五三六	一七、三八三	二一三、一四三	一七、二六九
アンチボロ	三〇、二二九	五七三	五、六八八	五七五
バギオ・ゴールド	二〇五、二六〇	一〇、八六五	一八六、九六六	一一、九一五
バラトツク	一、一三七、九七二	六八、〇七七	一、一七八、九〇七	六三、〇五九
バトン・アハイ	一三五、九三九	三、八九九	—	—
マンゲット合同	七四一、一四六	三五、二九六	九二七、〇一〇	三九、三三九
マンゲット・ゴールドフキールド	九、一五七	六七九	五九、二〇三	二、八〇二
ピツグ・ウエツジ	四七六、三五四	一一、八三六	一八四、一三二	五、五八五
カル・ホー	一〇三、三六七	七、〇六七	一三二、〇四三	七、二〇三
カアサイ	五七、七五四	四、五〇四	八一、七一六	三、五二五
ココ・グローア	七六、〇七八	× 三四五、五二〇	一五七、〇九四	× 三三〇、八二〇
クラウン・マインズ	六、五九〇	五八一	一一、九〇四	五九五
ダヴァオ・ゴールド	一四一、四〇八	五、五七八	—	—
デモンストレーション	七〇、七八五	五、四六五	三六、〇〇〇	三、四三八

イースト・ミンダナオ	八二、九〇四	五、九九一	七三、六九一	三、四八八
ゴールド・クリーク	四二、〇一八	一、八三四	一五、二八六	九三七
イボ・ゴールド	—	—	—	—
ノート・ゴン	五〇九、六三五	二七、九七六	四七五、二七一	六、三二〇
アイ・エツクス・エル	二六五、一九八	一四、三一	二六五、一六二	二七、五一一
マス・パテ合同	五〇八、八七八	一二四、六一六	五二七、二八〇	一一、六三二
ミンダナオ・マイニング	一八、七八三	× 七八、四四〇	三、四八七	八八、二二〇
ミンダナオ・マザー・ロード	一、〇〇五、四八四	八、五〇五	二〇〇、六三三	× 五、八一〇
ミネラル・リソーセス	三五、一四一	三、四三一	四二、一五四	六、五三六
ノース・カマリネス	四一、二九五	一、九六一	八七、五一八	三、八六二
ノース・ミンダナオ	—	—	—	—
ノース・マイニング	四八、八五〇	二、二二六	七〇、五一六	一〇、九八三
パラカレ・グマウス	一七三、七三五	六、一五六	一五八、二〇九	二、二三八
パラカレ・ナシヨナル	二五、五六〇	一、〇七八	四五、四五四	五、八九六
サン・マウリシオ	三九七、七七五	一三、三六六	四八六、三四七	一、七五一
サンタ・バルバラ	四八、〇〇〇	一、六〇〇	—	—
サンタ・タ・ロサ	一三六、四〇八	六、一六八	九七、九二三	四、七二五
スリガオ合同	二三七、九七〇	一一、八三〇	二〇〇、六八三	九、九一七
スミタ合同	一八五、三七六	七、五五六	一六四、三九五	六、五一

タンゼス・ゴールド	一三、五〇五	×	二八、〇三八	二三四
ツリーシュラアランド	二二一、三三〇		七、六八三	
ユナイテッド・バラカレ	四三三、六八八		一五、五四八	
キロメートル七三				
マヨン・マイニング				
バラカレ・ゴールド				
サンタ・セシリヤ				
合 計	七、九〇三、三一六		六、六五二、七二〇	

(註) ×ハ砂鑛區處理量ニシテ立方「ヤード」ヲ單位トス

七二、米國の卑金屬の買付に關する件

米國商務相「ジョンズ」氏は大統領及議會への定期報告中に、政府の金屬貯藏會社の事業として本月十三日迄に左の如き重要鑛產物の大量買付委託を了したる旨發表せり。

滿 俵 鐵	四一、七七六、〇〇〇弗
銅 俵	一四〇、一一〇、〇〇〇同
精 練 錫	二〇七、五〇〇、〇〇〇同
錫 鐵	一二二、四三 四、〇〇〇同

クローム 鐵	一二、〇一五、〇〇〇同
アンチモニド	六、四〇三、〇〇〇同
結 晶 石 英	三、一五〇、〇〇〇同

右原料供給國としては比律賓、蘭領東印度及南米が其の中に擧げられ居る趣なり。
 「ジョンズ」氏により報告せられたる其の他の鑛產物の買付委託豫定は「タングステン」(一一三、一六九、〇〇〇弗)、「アルミニウム」(一八〇、〇三四、〇〇〇弗)、石綿(一一五、〇〇〇弗)、「ボーキサイト」(一〇一、〇〇〇弗)、「カドミウム」(一三九、〇〇〇弗)金剛石(七〇八、〇〇〇弗)、雲母(三、〇六九、〇〇〇弗)、「ニッケル」(四、七四九、〇〇〇弗)及亞鉛鑛(三、八四三、〇〇〇弗)なり。

七三、最近の比島卑金屬鑛山の事業狀態

本年五月實施せられたる米國の輸出統制比島適用に引續き資金凍結及船腹不足に影響せられたる比島各卑金屬鑛山の事業狀態左の通り報告す。

一、鐵 鑛
 (A) Gold Star Mining Company.
 同鑛山は日本よりの鑛石積込船不廻航の爲八月當初「マリンドケ」島「モグボグ」の鐵山を閉鎖せり
 右鑛山にては通常約五百名の労働者が採鑛、運搬等に從事し居りしが鑛山閉鎖と共に鑛山監視人數名を残し全部離

職せり

本鑛山の最終の積出しは七月當初の約八千噸價額三六、四〇〇比にして本年の總輸出高は約三七七、〇〇〇比となる。因に昨年中の輸出高は五二〇、六九五比なり

本年今迄の本鑛山よりの積出噸數は未だ輸出割當量に達せず七月には八千噸宛船積が許可せられ居りたるも回航不能の爲一回の船積みがありたるのみなり

(2) Insular Operator (Agusan Gold Mines)

同社の經營に係る「カマリネス・ノルテ」州「バラカ」の Agusan Gold Mines 最近日本よりの回船不圓滑の爲事業を一時停止するの已むなきに至りたる旨發表し約十名の鑛山監視人を残し約一千名の鑛山労働者は鑛山再開の時期迄解雇する事となれり

鑛山の最終積込みは七月終りにて本年の總輸出高は五九五、八一五比なり、尙昨年中は九〇二、五〇〇比の鑛石を積出せり

(3) Philippine Iron Mines.

本年七月には三杯の船積ありしのみにて其の數量二四、二七二噸價額一二一、三六〇比は昨年三月以來の最低記録なり。尙六月は三〇、九〇七噸(一五四、五三三比)五月は四九、五四五噸(二四七、七二五比)を積出せり、右七月の三船積は同月中旬迄に完了せられたるものにて其の後は日本の鑛石購買者よりの回船困難にして未だ一回の船積もなく現在少數の鑛夫にて日本よりの回船を待ちつつ採鑛し居るも早晚事業を停止するものと思はる本年七ヶ月間の鑛石輸出高は六、七月の低調にも拘らず一、六〇九、一四八比に達し昨年同期に比し約一〇〇、〇〇〇比の増

加を示せり

(4) Samar Mining Company.

Philippine Iron Mines に次ぐ比島第二の鑛山たる同鑛山も七月の積出しは五月以來の低調にて二四、七一〇噸(價額一二四、九〇一比)に過ぎず其の後購買者よりの回船不能の爲鑛山の採鑛を一時停止せり。因に六月には三九、〇〇〇噸(價額一八一、三五〇比)の輸出を見たり

右四鑛山生産の鑛石は米國の輸出統制下に於ても數量の制限を受くるのみにて日本への輸出を許可せらるるものにして輸出の不振は日本側鑛石購買者の配船不圓滑に困るものなりとの理由により比島政府乃至米國高等辦務官事務所に於ても之れが積極的の救濟手段を採らざるもの如く又鑛石貯藏の爲にする米國の聯邦借款委員會よりの借款も日比間通商の打開の前途不明なる現在鑛山としては事業繼續を意味なきものとして之れを爲さざるものならんと觀察するものあり

二、銅

(1) Hixbar Gold Mines.

銅鑛の對日輸出禁止により比島有數の銅山たる「アルバイ」州「ラブラブ」島の鑛山の將來は非常に暗澹たるものなりとの經營會社たる「ニールソン」會社の重要會議に提出せる鑛山の年報中に述べて居るが右年報の主旨は左の如し

「現在の極東の状態にては戦争が終了する迄日本への積出困難にして且日本市場以外への本鑛山銅鑛の進出は不可能なり

同社としては華府に又「マニラ」に於て當局者と交渉し本鑛山の銅鑛を貯蔵鑛として米國に買付けしむるか或は直接米國西海岸の製鍊所に輸出し得る様充分廉く船腹を供與せられん事に努力を拂ひたるも最近に受けたる回答にては現在の如き船腹不足の折米國政府としては低品位の鑛石獲得の爲にする特別の船腹供與は爲し得ずとの事にて濠洲露西亞及上海市場も販路開拓の爲調査せるも何等收獲を得ざりしなり

米國による輸出統制令の比島適用の直接の結果なりと云はるる對日輸出禁止迄は本鑛山は非常に活潑に銅鑛を生産し日本向輸出して居り本年七月三十一日に終る半ヶ年間に會社は二五六、一九九比三九仙の純益を擧げたり

本年七月二十七日鑛山を閉鎖せるが其の直前に同社の鑛山事業として發表する所に據れば事實上の鑛山閉鎖に先だつ數ヶ月間は日本への輸出統制或は輸出禁止の可能性を見越し假令それが實現し相當長期間鑛山閉鎖の已むなきに至るもそれに對處し得る様採鑛を急ぎ一番坑道上の鑛石を殆んど採鑛しそれと同時に二番坑道上の「ケーピング」により失はるる虞れある鑛石の隔離鑛塊の採掘手段を講じたり

本年六月一日の鑛石埋藏量は一八、一五二噸(平均八・二六%)と見積られその他採掘し貯蔵せられ居る銅鑛一〇、〇八五噸(平均一〇%)あり

因に本年七月三十一日に終る一年間の生産高は三六、四六九噸(乾燥鑛塊)價額見積一、二九五、八一四比七四仙なるが輸出は五九、六七九噸(價額二、四二六、〇六一比五九仙)に達せり

(ロ) Lepanto Consolidated Mines

同鑛山の經營會社「ニールソン」の發表する處に據れば九月中の生産高は約二十萬比と見積られ居るが八月に比し此の生産減退は採鑛場間の運搬道路上の大崩壞により九月十七日以來鑛石運搬不能によるものなり

然し此の選鑛場の閉鎖は新設の製鍊所の作業には何等影響なく日本への輸出禁止前貯蔵せられたる銅精鑛を取扱ひ全力を擧げ作業を繼續せり。右貯蔵精鑛は約二、七〇〇噸あり選鑛場閉鎖を機會に米國向銅鼓の製鍊に當てたるものなり

最近の開發事業により鑛體は作業の進捗と共に品位の上る傾向を示して繼續し居る事判明したり。本年六月三十日の見積りにては採鑛可能量は五六五、〇〇〇噸あり品位も平均六・二五%の銅、〇・一六三「オンス」(噸當り一比四一仙)の金及〇・八八「オンス」の銀を含み埋藏鑛石の金屬見積額は現在の銅の値段により二四、〇〇〇、〇〇〇比と見らる。

此の「レバント」の鑛石品位は世界的のものなりと述べ居るがその理由とする處は同銅山より大きく且つ高品位の銅を有する鑛山はあるも金の含有量に於て此の銅山を凌駕するものは少なく加奈陀に所在する「ノランダ」鑛山は略々之れに匹敵し含銅率六・九六%含金量〇・一五三「オンス」なり。尙今後の開發事業により本鑛山の埋藏量はより増加するものと見られ居れり

三、滿俺鑛

(イ) Amalgamated Minerals

九月當初「パラワン」州「コロ」の同社鑛山より約千五百噸の滿俺鑛石が當地の鑛石仲買商たる Luzon Stevedoring により米國向積出されたり

右鑛石は既に鑛山より後者が買付け積込船を待ち居たるものにして此の外前者の所有鑛區たる「カマリネス」州「パニ」鑛山の鑛石五千噸も取引終了し米國向積込みを待ちつつあり

本鑛山は月々約一千噸の鑛石を生産しつつあるが最近は軍需資材として米國の需要増加に伴ひ生産増加に努力しつつあり同社の發表する所によれば最近開發された「コロソ」の新鑛床に於ては最大能力を發揮し本年中に生産を終了しそれと同時に更に新鑛床の採掘に着手せんと計畫して居り又南部の小島に埋藏する鑛石も鑛區所有者と鑛區使用料支拂契約により開發せんとし居る旨發表せり

(ロ) 其の他の滿俺鑛山消息不明

四、クローム鑛

(イ) Consolidated Mines.

「マシシロック」に「クローム」鑛床を有する本鑛山は本年六月迄に米國よりの需要増加に伴ひ相當事業を擴張し昨年一ヶ年間の積出量七九、四五〇噸に比し六ヶ月間に六四、九〇〇噸の輸出を見たり。然し同期間は船腹不足の爲手持鑛は寧ろ蓄積せらるる傾向を示したるも今般「マシシロック」鑛石は米國政府により軍需資材として認めらるるに至り米國海運委員會より船腹割當に優先權を與へらるる事となりたり。尙米國政府よりの十萬噸の註文は本年中に積出すこととなれり

前年末に於ける貯藏鑛石量は八、五〇〇噸なりしが本年上半期の採鑛事業の進捗に伴ひ六四、九〇〇噸の積出しを行ひたるにも拘らず同期末には五九、三二〇噸の積出準備鑛石を所有し居りたり

(ロ) Acoje Mining Company.

比島第一の高品位「クローム」鑛輸出鑛山たる同社の發表する所に據れば米國の金屬貯藏會社は本年中に米國へ輸出せらるる條件の下に本鑛山より五萬噸の「クローム」鑛購買を承認せりと云ふ

既に同社の私設棧橋には契約履行の爲三萬噸の鑛石が準備せられ居り且つ鑛山より棧橋迄の運搬能力一日六百噸を以てすれば残り二萬噸積出しも難事に非ず、尙右鑛石の輸入は米國の個人商社を通じて行はるるなり

(ニ) 其の他の Zamboales Chromite Mining Company, Filipinas Mining Corporation

の二鑛山は對日輸出禁止により現在少數の鑛夫を使用して採鑛し居るのみにして未だ米國向積出の交渉は無きもの如し然し孰れ「アコヘ」へ鑛石販賣の可能性あるものと思はる

(三) 九月三十日當地發行英字紙「トリビュン」紙の報ずる所に依れば九日二十七日米國大統領令により「ザムバレス」州の米國政府の「クロマイト」保有地を比島政府に返還する旨米國登記局 (Federal Register) が告示せりと云ふ

右大統領令は保有地を必要なきものと認め人民の利益の爲開放せんとして比島政府に返還せんとするものにして一九三〇年四月二十四日比島總督令により指定せられたる土地を含むものなり

(註) 右「クロマイト」鑛地として指定せられた區域には「クローム」は存在せざるものと思はる

五、ボーキサイト

本項目は單なる比島卑金屬鑛業の消息として報告するものにして九月二十日當地英字紙「デリティン」に記載せられたるものなり「現在米國に於ける「アルミニウム」の不足に關聯し比島の「バタンガス」州「ナスクブ」に興味ある明鑛石の埋藏ある旨「エー・デー・アルビル」氏 (科學及地質學者) は述べ居り同氏は昨年十一月同鑛床を調査せる際認めたるものにして其の鑛床の所有者たる「ロハス・イ・シア」は國立興發會社と共同にて鑛床の大いさ及鑛石品位調査の爲採鑛事業を開始する様勸告せられたりと云ふ而して右鑛床から採取せられたる鑛石見本の分析結果より見

たる所にては品位は世界最良の明礬石と比較し遜色なきものなりと述べ居れり

七四、比島の「クローム」鑛業

比島鑛産物中現在米國に於て軍需資材として缺くべからざるものにして米國に於てその生産殆んどなく鑛物獲得に全力を盡さんとするものは「クローム」及滿僱鑛にして後者は西半球にも産出あり國際間の事態の急迫する時に於ても比較的容易に獲得し得るも前者は地理的に觀て然らざる立場にあり近來比島鑛山物に對する重要性の増大せる事は自然の理と考へらるるものなり

現在比島には數ヶの「クローム」鑛山あるも輸出統制及品質の點より大部分嫁行停止の状態にありこれに反し米國の需要は愈々増大し米國の要求する品位に適應する高品位の冶金用鑛石を産出する「アコヘ」鑛山及耐火性能に優秀なる特質を有する「マシシロック」鑛山（コンソリデーター、マインズ所有）は最近愈々事業活潑となり配船も充分に行はれ米國の重要鑛石の一源泉としてその地位を明かにするに至れり

既報の「グラディー」代表の勸告に基く米國の一ヶ年三十五萬噸の「クローム」鑛の輸入計畫も其の數量の點より見て前記兩鑛山よりの産出に重點を置くものなる事は明かに察知せらる兩鑛山の本年一月より七月迄の月別輸出高左の通

（單位噸）

月別	アコヘ鑛山會社	マシシロック鑛山
一月	一三、九七七	一〇、〇〇〇
二月		
三月		
四月		
五月		
六月		
七月		
計	九九、三三三	七五、九四三

「マシシロック」鑛山は埋藏量約一千万噸と稱せらるる膨大なるものなるも品位は平均三十四%にして且その用途は耐火性に多く用ひられこれに反し「アコヘ」鑛山鑛石は用途の點より見て「マシシロック」鑛山鑛石より遙かに重要性をもち米國として其の獲得により重點を置き居れり

左に「アコヘ」鑛山の最近の事業及嫁行状態を詳報せんとす

「アコヘ」鑛山會社は現在比島第一の高品位冶金用「クローム」鑛生産會社にして米國の要求する國防軍需資材の重要な一源泉をなし居るものなり本鑛山の一九三九年歐洲大戰勃發以來の「クローム」生産及輸出増加は左の「グラフ」に示す通りにして一九三八年迄はその存在性も明かならざりしものが一九四〇年には其の生産高七六、七八四噸に飛躍し一九四一年には恐らく一七〇、〇〇〇噸に達するものと期待せられ居れり右輸出量増加と共に金額も激増を示し一九三七年度に於ては五十萬比を出でざりしものが本年度に於ては三百萬比を突破せんとする勢を示し居れり

「アコヘ」鑛山に於て生産せらるる鑛石は冶金用のものとして非常に良質にして平均五十%以上の酸化「クローム」を

含み居れり漸くの如き鑛石は特に本國及其の屬領内に「クローム」鑛の埋藏なき米國に取りては缺くべからざる重要資源なり

二四四

鑛山は「ルソン」島西海岸に沿ひて南北に走る「ザンパレス」山脈中海抜約二千呎の地點にあり五十三鑛區（一鑛區は三百米平方）を有し既に相當開發採鑛事業は進められ多數の小鑛床が発見せられしも尙未發見のもの存在する事疑念なき所にして蓋し其の埋藏量は豫期以上のものと言はれ居るものなり鑛床は大小に拘らず鑛區内至る所に發見せられ既に採鑛せられたる部分的區域内にも二十三個以上の別個に存在すると思はるる「クローム」鑛の「レンズ」あり之等總てに於て稼行せられざるに現在の大需要に對し其の要求を満たし居る状態より見て之等各「レンズ」も相當の埋藏量を有するものと見るを得べし

鑛石は二番及十六番「レンズ」より坑道作業により其の他約十二個の「レンズ」よりは地表掘により又表土の「クローム」を含有する粘土を水洗選鑛する事により夫々生産せられつつあるも後者は給水程度に支配せらるるものにして雨期及其の直後に限定せらるる様なり

右水洗選鑛は米國が粒鑛をも受理する事となりたる以前より試験的に行はれたるものにして其の方法は未だ人力によるものなるも生産鑛石は非常に品位高く化學用鑛物として認めらるるものなり此の採鑛法は含「クローム」岩石の侵蝕により出來たる分解せる崩壊岩石堆を數百名の労働者が流水を通したる長い水洗函に入れ泥土及不純物の流失する迄反轉作業を行ふものにして之れによる生産物は品位も統一し五十%以上の良質鑛物なり然し近來米國市場に於ても粒鑛の受理さるるに及び機械力に依る生産計畫樹てられ既に機械の一部は到着せるも未だ完備せず待機中なり右選鑛場は一日一千噸の生産能力を持たしめんとするものにして鑛石に對する金屬的試験(Mechanical Test)は既に米人技師により

行はれ既に試験的に建設せられし二十五噸選鑛場の成績より見て大規模の工場に就ても別段金屬處理行程に困難を伴ふものとは思はれずその機械工程は「ロッド・ミル」中に於て鑛石を粉碎し鑛石を大別したる後選鑛「テーブル」及水壓分類機により精鑛を得んとするものにして要するに比重應用の簡單なる選鑛法なり

「アコヘ」鑛山の鑛石と他鑛山のものとの差違は後者の或るものは生成時の交代作用により化學的に不純物が鑛石と共生する爲極端に品位を高める事困難なる事あるも前者の鑛石は物理的作用により不純物と共存する爲兩者の分離が容易なる點にあり

「レンズ」の大部分は高品位鑛石を産し或るものは選鑛を要せず直接高品位鑛石として船積し得るものにして之等大部分は露天掘により人力採鑛を可能ならしむるものなり各「レンズ」の幅及長さは異なるも一般に鑛囊として存在し北より南に走る傾向を有しその如きは一杆以上に亘り「クローム」含有地域が開發せられたり

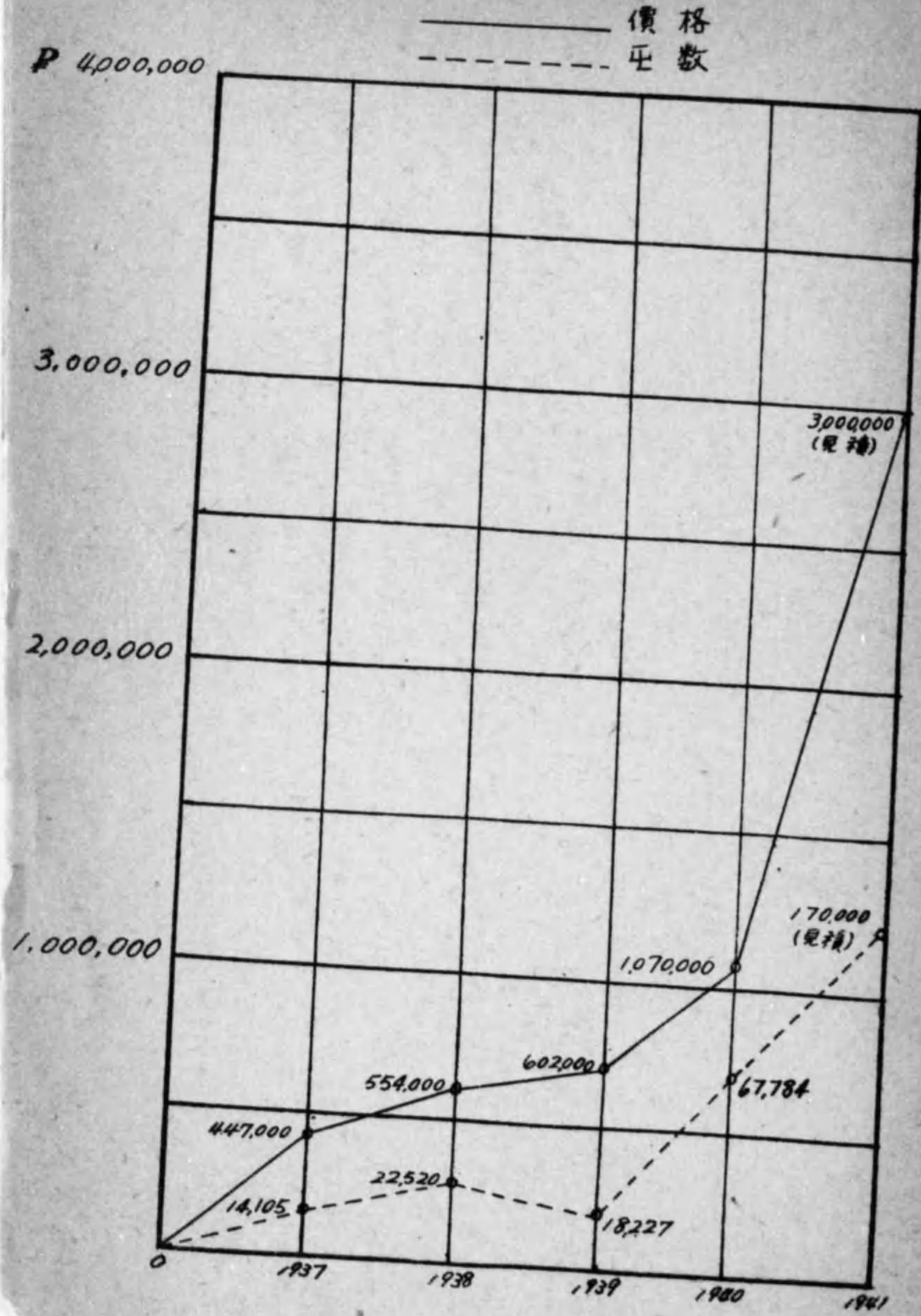
鑛區内最大の鑛床は十五番「レンズ」のものにして人力により採鑛せられ選鑛を要せず直に「トラック」により棧橋迄運搬せらる

現在までの生産の大部分は露天掘採鑛によるものなるも漸次坑道作業を要するものとなりつつあり即ち稼行場は深くなると共に作業に危険を伴ふものにして之れが爲既に坑道作業擴張計畫樹てられ「バギオ」及「バラカレ」金山地方より熟練鑛夫及監督が雇備せられ準備を進め居れり

鑛内全體の埋藏量は本年當初の見積りにて二十六萬噸と言はれ居るも二番及十六番「レンズ」に於ける地下探鑛の結果は前者の鑛床に於て地表より四百二十の横坑迄「クローム」鑛存積する事實より豫想以上に膨大なるものと觀察せらる

アコへ鉱山

輸出数量及價格



礦區中の最高地點は海拔二千三百呎あり「ザムパレス」の州道まで第一級私設道路約二十七軒敷設せられ居り其の地點より「サンタ・クルース」町附近「バルアルテ」の私設棧橋まで約十軒、計三十七軒を鑛石は「トラック」により運搬せらるるものなるが最近の需要増加に伴ひ道路も改修せられ現在一日晝夜兼行にて五百噸の運搬能力を有す但し運搬は契約によるものなり
 「アコへ」の私設棧橋には計一萬噸の鑛石を收容し得る六つに分割せる貯藏庫あり鑛石は庫の底部より約一噸宛鑛山車に移され「レール」に依り船側に運ばる。棧橋附近の深さは干潮時に於て三十二呎にして一日一千五百噸以上の積込能力を有す
 現在鑛山の生産能力は一月一萬五千噸乃至一萬九千噸にして最近は積荷の絶ゆる事殆んどなし

956
95

出版會承認
い 20552號

不許
複製

昭和十八年四月十日 印刷
昭和十八年四月十五日 發行

(非賣品)

編輯人 金子恭輔
東京市麴町區有樂町一丁目五番地

印刷人 山岡文平
東京市神田區錦町三丁目十六番地

印刷所 神田印刷所
東京市神田區神保町一丁目五十九番地
(東東三(五))

東京市麴町區有樂町一ノ五(日本工業館)

社団法人 海外鑛業協會

日本出版文化協會員番號三六三三番

終

